



## 愛知県立旭丘高等学校漕友会会報

第5号 平成 16年 2月 22日 発行

発行者: 〒461-0032 名古屋市東区出来町3丁目6の15

愛知県立旭丘高校内 愛知県立旭丘高等学校漕友会

TEL:052-721-5351

FAX:052-723-6825

事務局e-mail: yyyama@z2.zzz.or.jp 山本芳敬(旭丘27回)

chu@ma.ccnw.ne.jp 丹羽忠司(旭丘8回)



ご あ い さ つ

旭丘漕友会会長 長谷川 誠

漕友会会員の皆さまには、ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
昨年 11 月に「漕友会」の年会費と寄付金のお振込みをお願い致しましたところ、早速多くの会員の皆様方からお応え頂きまして誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

先に、お知らせ申し上げました通り、幹事長はじめ、会の運営に携わって下さる皆さんが、お仕事の上で一番忙しく責任ある立場に居られる方たちばかりのために、今回「漕友」をお届けするのは、実に二年振りとなり、大変に申し訳なくお詫び申し上げます。

それにつけても、一昨年のボート百年記念諸行事には、実に多くの時間と手間を費やしたにも拘わらず、幹事役の皆さんがよく頑張ってくれたものだと、振り返って又、感謝の想いを深くして居ります。

ご無沙汰いたして居ります間も、現役選手たちは毎年、赫々たる成果を残してくれています。練習方法も、昔と変わりました。一人一人がシングルスカルで練習し、それをダブルスカルやクオドルプルに組み合わせるという事です。

一人の漕手の遅刻で出艇出来なかった昔日を思い出し、「七人の心が一つに」「六本のオールが一本に」と重ねた訓練や、その目指したところが何処かに行って仕舞うのではないかと、特にフィックスに乗った先輩たちが気を揉んでいます。ともあれ、生徒たちは素晴らしい成績をおさめてくれています。

新しいボート観が生まれてくるのかも知れませんが、もともとボートに関する捉え方や思いは、個人々々の感受性によるものですから、優秀な後輩達については何の心配も要らないのかも知れません。

一方 OB も、毎年マスターズレガッタ、名古屋レガッタ、グリーンチャンピオンレガッタには出漕して居ります。フィックス艇による今津発の盛夏琵琶湖周航も恒例行事になりました。

こうした活動は、どうしても一部の会員に偏り勝ちでありますだけに、これからは出来るだけ多くの会員の皆さまに状況をお知らせし、ご参加頂けるようにしたいと思っております。今後は、社会人最盛期を過ぎた役員の作業分担を増して、更に充実した運営を行なうべく、年次総会で役割の組み直しを決めました。

そして愛知万博が行われる 2005 年には、アジアで初めてという「世界選手権レガッタ」が長良川下流のレースコースで開催されるということで準備が進められています。

これにつきましても、又、ご援助をお願いすることになるかも知れませんが、旭丘出身選手の出場と活躍の場が見られるかも知れません。



部員数も多くなり、先述のような現役の練習方法は、多くの費用を要します。しかし、一生懸命に練習し、又、結果を出している現役を支えてやるのがボートの絆で結ばれた先輩の務めであり、恩返しであろうかと思えます。事情ご賢察下さり、更なるご協力・ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げご挨拶と致します。

## 2004年 漕友会定期総会および新年会について(報告)

幹事 伊神 基博 (12期)

1月3日、名古屋駅前の「百楽」において、恒例となりました漕友会定期総会を開催いたしました。

当日は、長谷川会長始め OB・OG 会員 54名と大学受験を控えた3年生を除く、1・2年の現役ボート部員 23名(全員)を加えた 77名の会員に出席いただき、予定した 5件の議題を審議し、役員会からの提案どおりの内容で、承認・可決いたしました。

承認・可決した事項は、2003年事業報告 同決算報告 役員選任 2004年事業計画 同予算ですが、その中で、従来幹事長ひとりに集中していた漕友会の運營業務を、5人の幹事で分担する体制としたことと、現役支援策の1つとして新艇の寄贈を行うこと(寄贈式：5月5日中川運河艇庫にて挙行)を、特記事項として報告しておきます。

なお、新幹事長の丹羽忠司氏(7期)が、2004年の事業計画の提案に際して、名古屋大学艇友会が昨年英国ヘンレーコースで漕いだことに倣い、「マスターズ世界大会への出漕もしくはヘンレーでボートを漕ぐことをめざし、スカル艇・シェル艇での乗艇練習をはじめよう」と、呼び掛けられた。“初春の夢”としてもオアズマンとして壮大で前向きなロマンであり、それを正夢とすべく小生も微力ながら協調したいと思っております。

総会に引続く新年会では、現役の諸君から、自己紹介と今年の抱負および2003年を超える成績を目標とする、との力強い決意表明が異口同音であり、その都度先輩会員から温かい激励のエールと拍手が贈られた。

OG・OB 会員も出席者全員が、若い人から順に近況報告を行った。

最後に、愛知一中校歌「山には虎狼群がりて」と「旭丘高校校歌」を全員で大合唱した後、尾関繁俊副会長の発声により万歳を三唱し、散会した。

### 2004年度漕友会費及び寄付金のお願い

漕友会活動および現役支援強化を致したく、年会費 5 千円ならびに寄付金のご協賛を賜りますようお願い致します。

(会費・寄付金の納入につきましては、同封郵便振替用紙でお願い致します)

会計報告(03年度決算報告及び04年度予算は下記の通り総会にて承認されました)

2003年度決算報告				2004年度予算計画			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
前期繰越金	1,001,269	総会費	268,000	前期繰越金	634,297	総会費	245,000
年会費(現)	213,000	現役援助	150,000	新年会費	245,000	現役援助1	900,000
寄付金	34,000	借入金返済	1,000,000	年会費	690,000	現役援助2	150,000
新年会費	307,000	レース出漕料	97,000	寄付金	300,000	漕友発刊費	100,000
年会費	496,000	通信費	97,860			レース出漕	100,000
寄付金	231,000	協会費	3,070			津対抗協賛	150,000
郵貯・利子	25	事務消耗品費	6,805			市協借艇料	33,000
		HP維持費	13,6260			通信費	100,000
		雑費	11,642			事務消耗品	10,000
		〔支出小計〕	1,647,997			HP維持費	8,000
		次期繰越金	634,297			雑費	10,000
						〔支出小計〕	1,806,000
						次期繰越金	63,047
収入の部合計	2,282,294	支出の部合計	2,282,294	収入の部合計	1,869,047	支出の部合計	1,869,047

2003年度会費及び納入者ご芳名〔敬称略・順不同・2003年12月18日着分迄〕

長谷川誠 丹羽忠司 山元収 尾関繁俊 伊神基博 伊藤壽洪 谷村龍児 田淵哲雄  
 渡辺豊 杉光 関口藤太 佐分敦郎 高木浩司 河辺太加志 児玉高志 河村剛 片山元  
 水野義則 早川真 岡林大祐 佐藤綾人 宮澤大介 笹田泰治 森田哲也 早川##  
 大谷賀一 神田大介 橋本佳延 服部慶子 原雄一郎 青木大 浜島豊和 木村慎祐  
 近藤千真 佐藤弘明 塩瀬由季子 山田高大 森島元 中江保一 佃茉優 服部岳  
 成瀬真吾 奥村信太郎 米村実華 川浦慎平 木村仁美 浅井佐保子 服部久雄 堀悟  
 新村雄康 石井敏彦 水谷保幸 新家光 友松靖夫 岡部好男 田中康夫 加藤庸幸  
 鈴木道正 荒川三郎 杉山章 青木崇佳 大久保満 清水修 川本文彦 向井幸太郎  
 加藤信介 深山靖 加藤澄一 吉倉孝也 水谷晃 右高金守 長崎博三 堀政樹 杉浦実  
 内藤晴二 大田均 篠田朱里 稲田昭 鈴木幸平 北野亮一 前田路矢 高橋奈津子  
 椛山実 樋口満 山本達郎 伊藤弘之 石蔦純男 川本義昭 荻子昌 竹川昌和 間正博  
 川島光晴 澤木秀夫 川瀬哲男 尾石紀之 斎藤敏彰 鈴木隆容 河村直彦 吉田有香  
 内堀典保 井上新一郎 橋本佳延 渡辺浩司 山崎雅彦 深見徳行 坂野和徳 池田慎司  
 早川晴雄 近藤富夫 竹久睦 金田遙 和氣厚司 高森泰 坂田隆 魚住洋次 福井政彦  
 中川洋二 三好秀吉 千田勝二 名倉英一 島田道敏 平田哲也 玉本晃 溝田照彦

## 旭丘高校漕友会新執行役員

会 長	長谷川 誠 ( 7 期 )	
副会長	尾関 繁俊 ( 1 0 期 )	
〃	田淵 哲雄 ( 1 9 期 )	
幹事長	丹羽 忠司 ( 8 期 )	
会 計	山本 芳敬 ( 2 7 期 )	
幹 事 ( 経 理 担 当 )	友松 靖夫 ( 1 2 期 )	
〃 ( 総 会 、 技 術 指 導 )	伊神 基博 ( 1 2 期 )	
〃 ( 会 報 『 漕 友 』 担 当 )	谷村 龍児 ( 1 2 期 )	
〃 ( 総 務 、 レース 担 当 )	伊藤 壽洪 ( 1 2 期 )	
〃 ( 広 報 、 レース 担 当 )	佐分 敦郎 ( 2 3 期 )	
〃 ( レース 担 当 )	河村 剛 ( 3 5 期 )	
〃 ( 東 京 担 当 )	樋口 満 ( 1 9 期 )	
〃	川本 義昭 ( 1 4 期 )	水谷 晃 ( 1 8 期 )
〃	杉 光 ( 2 1 期 )	関口 藤太 ( 2 3 期 )
〃	高木 浩司 ( 2 4 期 )	佐藤 綾人 ( 4 4 期 )
〃	森田 哲也 ( 4 5 期 )	服部 慶子 ( 4 7 期 )
監 事	桑山 栄一 ( 1 9 期 )	家田 安啓 ( 2 7 期 )
相 談 役	清水 修 ( 一 中 6 3 回 )	
〃	久田 敏夫 ( 一 中 6 3 回 )	
顧 問	山本 芳敬 ( 2 7 期 )	
〃	片山 元 ( 3 7 期 )	
特 別 会 員	青山 美紀 ( 旭 丘 高 校 ボート 部 コーチ )	



## 金鯨の旗の行くところ

愛知県立旭丘高等学校長 野々部 幸藏

漕友会の皆さまには、旭丘高校ボート部の活動に対し、常日頃、温かいご支援を賜りありがとうございます。特に、今年度は、ボート部の創設 100 周年を記念して、平成 11 年度のクオドルプル『鯨光』『金鯨』に引き続き、シングルスカルの『燿鯨』、ダブルスカルの『雙鯨』をご寄贈いただき、顧問、コーチ並びに生徒ともども心から厚くお礼申し上げます。また、元世界チャンピオンのニルス・セーガ博士をデンマークからお招きいただき、漕法指導と講演を賜ったことも、本校ボート部の生徒諸君の資質向上にとって大きな力となりました。

平成 13 年度全国高等学校総合体育大会、国民体育大会宮城大会及び全国選抜競漕大会等への出場・活躍という栄えある実績は、生徒・選手本人の頑張りによることは勿論ですが、「金鯨の旗の行くところ」の言葉に収斂される伝統の力と、漕友会の皆さまの数々のご支援なくしてはあり得なかったことと感謝しています。

漕友会のますますの発展と会員の皆さまのご健勝をお祈り申し上げるとともに、旭丘高校ボート部員の一層の成長と飛躍を期待しています。

## この3年間の活動を振り返ってみて

旭丘高校ボート部顧問 片山元

創部百周年の 2001 年度の活動の一部です。8 月の熊本県斑蛇口湖での全国総体には男子クオドルプルが出漕し準決勝まで進出しました。9 月の宮城県長沼での国体には男子シングルスカルが出漕し準決勝まで進出しました。年度の終わり 3 月の天竜での全国選抜には男子ダブルスカルと女子ダブルスカルが出漕し、男子ダブルスカル 8 位、女子ダブルスカル決勝 4 位の成績を残しました。

次に 2002 年度の活動の一部です。8 月の茨城県潮来での全国総体には女子クオドルプルが出漕し決勝 3 位となり。全国総体の記録に「栄光のあと」として残ることになりました。

9 月の高知県四万十川での国体には女子シングルスカルが出漕し準決勝まで進出しました。3 月の天竜での全国選抜には男子ダブルスカル、男子シングルスカルと女子ダブルスカル、女子シングルスカルが出漕し、女子シングルスカル決勝 2 位、女子ダブルスカル 8 位、男子ダブルスカル準決勝進出の成績を残しました。続いて 2003 年度の活動の一部です。8 月の長崎県琴海町形上湾での全国総体には男子ダブルスカル、男子シングルスカルと女子ダブルスカルが出漕し、女子ダブルスカル



決勝2位、男子ダブルスカル準決勝進出、男子シングルスカル準々決勝進出の成績を残しました。9月の天竜での国体には女子シングルスカルが出漕し決勝3位の成績を残しました。そして、この結果をもとに鯨光会から顕彰をうけることになり、11月の顕彰式典に生徒の伊藤なつみと共に参列しました。式場では漕友会から高木さんを通じて花束までいただきよい記念となりました。来る3月の天竜での全国選抜には男子クォドルプル、女子シングルスカル、男子シングルスカルが出漕し、大暴れする予定です。

さて、これだけではその雰囲気、、、と、わからないと感じられる漕友の方々もいらっしゃると思います。確かに上に挙げたひとつひとつのレースにドラマがありました。そればかりか何気ない練習の日々にも、生徒は私が思う以上のことを感じていたことでしょう。それらを皆様にも上手にお伝えすることができなくてすみません。最後に全国高等学校体育連盟50周年記念誌「航跡」に近況の報告をするために寄稿した「Super Girl」について転載しておきます。雰囲気がすこし感じていただければと思います。



## 「Super Girl」

旭丘高校の女子生徒の割合について、この50年余りの推移を載せます。(全日制普通科+美術科等) 昭和25年卒19%、昭和30年卒36%、昭和35年卒25%、昭和40年卒22%、昭和45年卒21%、昭和50年卒27%、昭和55年卒34%、昭和60年卒39%、平成2年卒30%、平成7年卒41%、平成12年卒50%、平成17年卒業予定59%。これを見ると21世紀は女子の時代となりそうです。

旭丘ボート部は、2001年に創部100周年を迎えましたが、女子部ができたのは昭和56年のことでした。昭和58年の愛知総体に向けての発足であったと思います。ナックルフォアの「きそ号」、シングルスカルの「とよがわ号」で出漕していたことを思い出します。それ以来20年余り、地道な努力で存続してきましたが、県内の宿敵であります猿投農林高校の後塵を拝しておりました。ところが、2002年総体県予選で、当時の女子部員2年生4人と3年生1人からなる女子クォドルプルクルーが、その猿投農林クルーに水をあけてゴールしてきました。この歴史的な出来事を後世に伝えようにも、100周年記念誌を発行して1年も経っていない時で、「愛知一中・旭丘ボート部200周年記念誌」までお預けとなった次第です。

彼女たち「Super Girl」は、ボートの競技力が高いばかりでなく、味に濃い、現代っ子でもあります。「滲しずく」で有名な潮来のインターハイに引率したときのことで。旅館の食事がどうにも口に合わないと思わすので、隣に美味しい喫茶店を見つけ、毎日昼食時にはオムレツ、スパゲッティに付き合いました。試合に勝った日には、褒美に校長先生からいただいた御厚志で、食後に高級そうな紅茶を一杯なんてことをしたりしました。それが功を奏したのかどうかは知りませんが、決勝において3位でゴールすることができました。納艇するときにはクルー全員、目に涙のしずく。そして笑顔。これが現代っ子?忘れられない青春の1ページとなりました。

活動状況の一部として女子の躍進ぶりを取り上げました。もちろん、男子もがんばっていますし、部全体の雰囲気も上々です。そして、近年コーチとしてボート部を支えている青山先生も「Super Girl」です。

## 第5回琵琶湖周航の記

伊藤壽洪（旭丘12期）

今回の琵琶湖周航は第5回目になる。第1回目は平成11年に行なっている。基本的には第1回目のコースである今津町～竹生島～つづらお半島菅浦(泊)～今津町の1泊2日のコースが最高のコースという事で現在まで続いている。第2回目は琵琶湖まで行ったが異常湧水で琵琶湖の水位が極端に低く、今津町のFix艇を船台から、湖面に降ろせなくて、泣く泣く中止した経緯がある。

第3回は旭漕会100周年という事で、琵琶湖周航歌の故地を4泊5日で廻った大周航であった。旭漕会100周年の祝賀会の席上、津高校艇友会との間で、両会合同の琵琶湖周航計画が持ち上がり、実際に平成14年度に2艇でもって第4回琵琶湖周航は実施された。

第5回目は8月23日24日で行なわれた。9時30分には今津町の艇庫にモーターボート伴走の千田勝二博士以外は全員集合していた。メンバーは長谷川誠旭漕会会長以下丹羽忠司氏(8期)、尾関繁俊氏(10期)、千田勝二博士(12期)、伊神基



博氏(12期)、友松靖夫氏(12期)、谷村龍児氏(12期)、渡辺豊氏(19期)、伊藤壽洪の9名でした。今津町艇庫を10時30分に出艇。べた凧の中を竹生島めざして漕ぐ。港の入口で、千田博士のモーターボートと合流。5分漕ぎ、5分の休憩で快適なローイングを楽しむ。幽か遙に、多景島を眺め、時折通る遊覧船に手を振り、ゆっくりと進む。半分ぐらい鵜に占領されている竹生島は近づくと島は鵜の糞で無残なすがたである。

12時半に竹生島の港に着く。漁船溜は狭く、そこへ艇を入れるとき、伊神君と千田博士が落水。トンだハプニングであった。竹生島の岸壁付近で早速缶ビールと持参の弁当で昼食を取る。多くの遊覧船が入港し、賑わっている。メンバーの誰かが神社へ参拝に登ったみたい。13時30分出発。葛箆尾半島の漁港菅浦を目指す。午後は何時も風が出るが今回はそよ風程度である。半島の陰に入り、快適にローイングを楽しむ。午後3時に菅浦港の漁船溜に艇を着ける。今夜の宿は舟溜の真前の民宿旅館の『よしや』である。何時もは国民宿舎つづらお荘に泊るのであるが今回満員の為、『よしや』である。早速風呂に入りビールを飲み始める。

飲むは飲むは、底無しである。夕食までに出来あがってしまっていた。夕食は鰻のすき焼きで美味かった。鰻と聞いて脂っこいかと思ったら、意外、あっさりしてた。白焼きで脂は抜いてあるみたい。又、夕食事に琵琶湖名物鮎寿司を注文したが食べきれずに持って帰った。尤も、この鮎寿司は家へ持って帰ったら、カミサンは腐っていると思って捨ててしまったが、残念であった。良く飲み、良く食



べ、歌も飛び出し、大変な夕食であった。翌朝、一番のバスで渡辺豊氏が会社に出る為帰って行った。日曜日出勤とはご苦労参でした。朝食は昨日のすき焼きの残りの鰻の白焼きを一杯食べる。

8時30分菅浦港出艇。帰りはモーターボート伴走は無し。渡辺豊氏の代わりに千田勝二博士が入り、気持ちの良い朝の琵琶湖を漕ぐ。そよ風はアッテンしたオールだけで艇を大分運んでくれる。急がないローイングは快適そのものである。11時10分今津町の艇庫に到着。良かった良かったで帰途についた。

写真は竹生島を背景に整調の長谷川会長他、クルーの面々

## ポジション考

片山 元(旭丘37期)

今世紀初の冬のオリンピックがソルトレークで開催されました。私はBS1の深夜LIVE放送を見てしまい、寝不足な日々を過ごしていました。私もスキーが好きで(いわゆるオヤジギャグ)ここ数年は夏に「ザウス」(千葉県にある世界最大級の室内スキー場で、不景気の影響か今年9月に閉鎖予定と先日新聞発表された。残念)に遠征し、冬になるとホームゲレンデの志賀高原に出発します。今シーズンは不覚にも健康管理を怠り、年末年始のスキーツアー、旭丘のスキー学校をキャンセルする憂き目に遭いました。年が明けると、いてもたってもいられなくなり、とうとう行って来ました。今年は猿だけでなく「おこじょ」(イタチの一種で夏は褐色の毛が冬には白色に変わる。毛皮はアーミンと呼ばれて珍重されているらしい。主に夜行性)にも偶然出逢うことができ、大自然の中でスキーを満喫してきました。

さて、スキーをはじめて十数年になるのですが、このところ上達速度が鈍くなり、体力的な衰えもちらほらみえてきました。しかし、オリンピックのモーグル選手のように上手に滑りたいという夢を

もって負けるものかと悪戦苦闘しています。今回少しコツをつかんだことは、ポジションのことです。スキーの世界では使い古されてしまったほどのキーワードですが、ここにきて大切さを実感しました。





言葉で表現することは簡単ですが、実行することは難しいといったらよいのでしょうか。板の操作をどうこうするか、ポールのタイミングをどうするかではなく、まず最初に良きポジションであるべきということに気づきました。

水もゆるみ、いよいよボートシーズンも開幕です(開幕戦は全国選抜大会)。ボートにしても、スキーと同様に正確なブレード操作、グッドなタイミングは良きポジションがあってこそと再認識したスキーでした。

## 100周年の新しい出会いのあと

水谷 晃(旭丘18期)

19回生と再会をしたのは、彼等が卒業後20年を前に記念文集を作るからと誘いを受けたのが昭和61年で、62年の2月14日に出版記念パーティがありました。

現役時代の1年の差は、とても大きく思っていました。20年の歳月は偉大なもので、気の合う仲間意識のほうが強くなり、マスターズレガッタに参加するようになってからは18回生の仲間も増え、年に一度の再会を楽しんでいました。

ところが昨年は100周年で、準備会が毎月あり、大先輩に揉まれた一年でした。特に、12回生の先輩が持つエネルギーには圧倒されっぱなしでした。

個人的に、以前からおつきあいのあった千田さんは、前夜祭の講演会で格調高い質問を真っ先にされて、ヨット フラータス のオーナー以外の側面をみせられました。

そして、琵琶湖周航の牽引力となられた伊藤さん。

新年会の2次会後、酔った勢いでホテル マリオットの鼻先である2階の屋外ステージで校歌をがなった渡辺と水谷を野放しにして、ガードマンを見張っていただいた深山さん。

記念誌の谷村さんなど、還暦とはもう一度活力がもらえるチャンスかと思えるほどでした。

8回生の丹羽さんには、ナロウボートの貴重な情報をいただきました。

後輩では、24回生の高木さん、35回生の河村さん、47回生の服部さんなど多くの方々と出会いがありました。

101年の今年は、昨年にも増してとの思いとうらはらに、2月21日からひどくなった花粉症のせいか、気力が減退しています。杉が終わり、ヒノキの落着く4月20日頃まで、ほとんど冬眠状態です。マスターズレガッタまでの限定疾患ですが、通年疾患としては、脊椎すべり症、胃粘膜下腫瘍、に左足親指肉げが加わったので、漕手としての参加はあきらめています。

昨日(3月1日)娘の楨の卒業式に付き添ってきました。旭丘の新校舎は姿を見せていましたが、まだ供用できず、東門で記念撮影をしてきました。

式は、来賓あいさつなしの心のこもったもので、君が代斉唱はのれませんでした。校歌斉唱では、ついいつものくせで声がでてしまい、隣の妻から注意されました。でもあとで娘が、今年の校歌は盛り上がったと言っていたので、よかったと思っています。

今年から始まった生徒中心の卒業会も楽しいものでした。全員合唱も掛け合いとか二部にわかれるところなどもきまっており、最近の在校生は、かくも高い音楽水準をもっているのかと驚かされました。機会あるごとに我々が歌っている部歌のありかたについて、少し反省しています。

そんなこんなで101年が始まっていますが、伊藤さんから送られた壮年組スケジュールを横目でながめながら、この1年をつつがなく過ごそうと思っています。

# ボート部創立 100 周年の締めくくりとして

桑山栄一（19期）

愛知一中旭丘と 100 年にわたり受け継がれてきたオールが 2001 年に節目の年となり記念事業が行われました。ここの記念事業については「愛知一中旭丘高校ボート部 100 年史」に記載されていますが、それを補充する部分を書かせていただきます。今から 3 年前のことですので、記憶が定かではない部分もありますので、若干の間違ひはお許しください。

## （1）100 周年事業の概略の決定とキックオフ

2001 年が 100 周年だから記念事業をしようとの会話は、漕友会が再興された 1997 年から囁かれていました。正式には、2000 年 12 月 13 日秋中の小川軒での有志による忘年会の席上で具体案が討議されました。この忘年会は、12 期の皆さんのお声がけにより有志によって毎年行われています。その席で事業の骨子が決まり、それをもとに翌 2001 年 1 月 3 日に行われた漕友会総会にて原案が出席者に提案され、承認されました。

2001 年 1 月 11 日旭丘高校会議室にて第一回準備会が開催され、事業の詳細、日程、そして担当世話人が決定されました。その準備会には 20 名の有志が参加し相当細部まで検討されました。ご出席頂いた会員は次のとおりです。（敬称略）

7 期 長谷川誠、8 期 丹羽忠司、12 期 谷村龍兒、12 期 深山靖、12 期 伊神基博、14 期 川本義昭、18 期 水谷晃、19 期 渡辺豊、19 期 田淵哲雄、19 期 桑山栄一、23 期 関口藤太、27 期 山本芳敬、35 期 河村剛、43 期 早川真、45 期 宮澤大介、45 期 早川##、47 期 服部慶子、47 期 丸山洋一郎、51 期 板東信人

この準備会に幅広い年代の多くの有志がお集まりいただけたこと、そしてその場で 5W2H がすべて決定されたことが 100 周年事業の大成功の元でした。決められたことを決められた日程で滞りなく実行されました。実行されたとはいえ、その担当委員の能力の高さと、担当事業に注ぎ込んだ献身的な努力は並大抵ではありませんでした。余談で私事ですが、わが社にこのような人材が一人でもいれば、会社の業績も飛躍的に向上すると感じました。

また、この事業には延べ 1000 人を越えるか委員諸氏が手弁当で参加してお手伝いいただきました。総事業費は、名目上は 500 万円弱ですが、人件費を含む手弁当代を金額に算入するなら 1000 万円はるかに越える大事業でした。

## （2）HOW MUCH

第一回会議で予算組みされた事業費は 550 万円（現実には 487 万円で終了しました）、通常の年は、70 - 80 万円程度の会費寄付金収入しかないところに、いきなり 550 万。繰越金が 78 万円あるといえ、相当のきつい数字で、各事業の参加者には当然会費を徴収することを取り決めました。しかしながら、会員の皆様の理解も深く、2001 年度は会費寄付金を通常年度の 4 倍の 288 万円を頂き、単年度としては、何とか 58 万円ほどの赤字決算なり、次年度で累積赤字は解消されました。

事業費 487 万円のうち、340 万円が形として残る記念誌、記念品、そして現役への新艇寄贈に使われました。残りの部分については、事業のつど徴収された会費でまかなわれました。2001 年度の 145 名の方から頂戴した会費、112 名の方から頂戴した寄付金は、形となってボート部現役と漕友会会員の方の手に渡ったことを皆様にお伝えします。

(3) 記念誌の原稿締め切り以降開催された事業 (記念誌未掲載の100周年記念事業)

1. 津高対抗レガッタ(10月14日)

なごやレガッタ(10月7日)の翌週に快晴の中川運河で行われました。漕友会は、前回の対抗レガッタでは、敵地に赴き全勝の快挙を成し遂げました。その屈辱をはらすため、艇友会メンバーはかなり練習をしてこの対抗レガッタに臨みました。それに反し、漕友会は前週の疲労が残り形勢不利。結果は、旭丘3勝2敗で何とか面目を保ちました。



20歳台	WF	旭丘漕友会
30歳台	KF	旭丘漕友会
40歳台	KF	津高艇友会
50歳台	KF	旭丘漕友会
60歳超	KF	津高艇友会

表彰式の後、いつもの対抗戦のとおり 漕艇センター2階にて懇談会を開き、旧交を暖めました。

開会式



津高60歳超クルー



部歌合唱

2. 世界チャンピオンとの共漕と講演会

1970年世界選手権シングルスカルチャンピオンでもある「ローイングの生理学」の世界的権威ニルス・セーガ博士(コペンハーゲン大学教授)を招き、現役への実技指導とローイング科学についての講演会を行いました。

その1 前夜祭

開催日の前日11月9日 19期メンバーでセーガ博士を招き夕食会を開きました。 宿泊先の名古屋マリオットホテル15階カリフォルニアグリル「ラホーラ」で身内だけで行いました。 出席は、19期 樋口満、田淵哲雄、渡辺豊、桑山栄一、そして 主賓のセーガ博士。

世話人の樋口博士と顔を合わせると、樋口博士いわく「とうとう連れて来たよ」。 セーガ博士が日程の都合がつかず、あわやーととの時期もありましたので、本当に苦勞されたと思います。顔を会わせた時の樋口博士の「満面の笑み」は、一生忘れません。

セーガ博士の第一印象。とにかくデカイ。手も足も長い。レストランの椅子から尻がはみ出している。

その2 世界チャンピオンとの共漕

11月10日快晴。第一の仕事は、デンマーク国旗(樋口博士持参) 旭丘高校校旗、日本国旗を漕艇センターのポールに掲揚することから始まった。注目度も高く新聞社の取材、旭丘高校以外からの多くの参加者がありました。模範漕のあとモーターボートに乗って現役生の指導をしていただきました。ポイントは「大きく水を捉えて最後まで漕ぎきりフィニッシュ」と私はジェスチャーから察しました。

昼食は、近くのレストランで豚カツを食べましたが、和室の座敷で長い足が本当に邪魔そうでした。

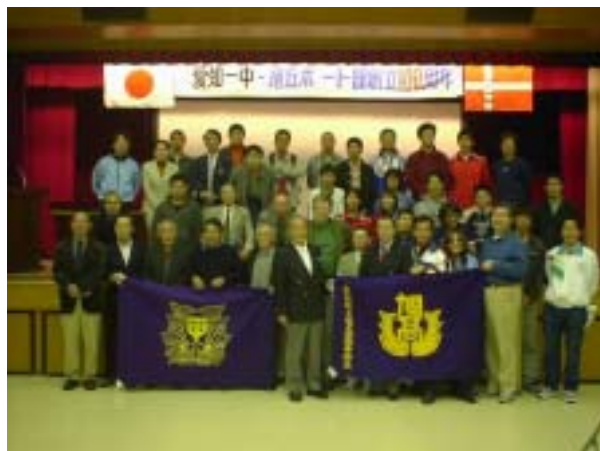


### その3 講演会

共漕のあと午後に行われました。場所は、県会議員の高木浩司さん(24期)のお世話で予約した港区役所ホールでした。広いホールが埋まるかと心配しましたが、100名近い参加者があり、面目を保ちました。地元のボート部、ボート協会をはじめ 遠くは北海道からの参加者も得ました。

開会にあたり セーガ博士から漕友会長谷川会長に博士の所属するダニシュ スチューデント ローイング クラブの帽子が贈られ、漕友会からは、記念のTシャツが贈られました。

セーガ博士のローイングに関して講演につぎ、樋口博士(19期)のスポーツ医学の講演がありました。参加者からの積極的な質問も相次ぎ、注目度の非常に高い行事でした。



### その4 懇親会

講演会終了後、12期伊藤壽洪さんのお世話により、林中の小川軒にてセーガ博士を囲み懇親会が行われました。公式行事のときとは違って変わって非常にリラックスして、ピアノの生演奏の中、ワインやビールを楽しみました。日本最後の夜を満喫しているようでした。



### その5 セーガ博士からのメッセージ

多忙のセーガ博士は、翌日11日早朝成田経由でコペンハーゲンまで帰国されました。帰国に際して、旭丘高校漕友会にメッセージを残されました。

ニルズ・セーガ博士からのメッセージ  
 1999年11月11日、早朝、コペンハーゲンまで帰国されました。帰国に際して、旭丘高校漕友会にメッセージを残されました。

NAGOYA Marriott ASSOCIA HOTEL

This is a congratulation from its 139 year old friend, the Danish Student Rowing Club, to the Asekiyaka High School Rowing Club on its centennial celebration. As you've continued interest in once rowing and recreational rowing including rowing for the elderly. We mutually maintain rowing as the laboratory for the recreational sport. Clearly, I have experienced three hot two days that rowing creates a cohesion and looking ~~at~~ network of friends so important in a World after hostile to the individual.

Rowing in Nagoya was an event. Also, I argued indignation of so much excellent rowing by the very young showing that the Asekiyaka Rowing Club enters its second centennial in the best of spirit.

### 3. 創部100周年記念祝賀会

12期 深山靖さん(名古屋マリOTTホテル社長)のお世話により名古屋最高のホテルにて祝宴を行うことができました。100周年にふさわしく、大きな盛り上がりで100周年事業を締めくくることができました。今でも心に残っていること。

#### 1. ホテルのおもてなしがすばらしかった。

ホテルスタッフの気使い、料理の量と質とも最高でした。特に量に関しては申し分なく、現役が「こんなうまい料理を腹いっぱい食べれるなんて——」と涙を流していました。

#### 2. 裏方の若手のがんばりとチームワーク

受付等の裏方を若手にお願いしました。お互いに相談して役割を分担して、大役を完璧に果たしてくれました。大学卒業して間もない若手が、お客さんに心もこもったもてなしができるのも、ボート部のチームワークか。

#### 3. 飽きない宴会だったこと

1999年くまもと国体で全国制覇を果たしたダブルスカルの試合のビデオを会場で放映しました。祝賀会に出席した誰もが果たせなかった夢を果たした中江・森嶋ペアの力漕を、感無量で見っていました。また、来賓の皆さんにとってもいい演出、あつという間の宴会でした

#### 4. 各事業の世話人さんへの拍手

祝賀会の最後に100周年事業の各事業責任者に壇上に上がっていただき紹介をしました。その時会場からは割れんばかりの拍手が起きました。責任者の方世話人お方も、この拍手で苦勞が報われたことと思います。



#### (4) 100周年事業のまとめとして

記念事業のまとめが2年以上遅れてしまいました。本来なら100周年事業の終わった2年前にこのまとめと、会報「漕友」発行しなければなりませんでした。当時の幹事長として非常に申し訳なく思います。どうしても社業優先にしなければならない状況で、設立した中国工場にかなりの労力を費やしました。できるだけ早く懸案事項を解決して、また、漕友会の事業のお手伝いをしたいと思います。

最後になりましたが、100周年事業成功にご協力いただいた皆様に深くお礼を申し上げます。まず、心の支えになっていただいた一中の諸先輩に感謝いたします。大切な事業でお顔を拝見するだけで力がわきました。また、縁の下の力持ちで裏方として記念事業を支えてくれた早川君はじめ多くの若手に感謝します。心が打たれたのは、若手のハートの気持ちよさと高い知的能力でした。近い将来 漕友会の中心となり現役を援助してくれると思います。さらに、大切に大きな事業の実行責任者の12期を中心とした諸先輩の献身的な行動には頭が下がります。今後のいいお手本として生かさせていただきます。どうもありがとうございました。また、同期19期の戦友にも感謝します。頼りになる？同期の仲間です。最後に旭丘高校の校長先生、教頭先生、顧問の皆様、校舎新築の急がしい時期に全般的に事業をバックアップしていただきました。どうもありがとうございました。

次の大事業は150周年か200周年かわかりませんが、次の事業まで旭丘高校ボート部並びに旭丘高校漕友会が、存続しさらにパワーアップされることを祈念し、締めくくりの言葉とします。

## 祝賀会のスケジュールと役割分担

(祝賀会の正式名称) 愛知一中・旭丘高校ボート部  
創部100周年記念祝賀会

### 式次第

1. 14:45-15:00 在校生による音楽演奏  
受付がすみ次第、会場に入って着席してもらう  
名札にテーブルの名称(船の名前(たとえば金鯱))を付け、
2. 司会 桑山
  - ・ 15:00より
    1. 開会の挨拶-司会者桑山
    2. 主催者挨拶-旭丘高校漕友会会長 長谷川誠
    3. 来賓挨拶
      - 1 鯱光会 会長 佐伯 進 様  
愛知一中会 会長
      - 2 愛知県立旭丘高校同窓会 会長 大島宏彦 様
      - 3 愛知県ボート協会 副会長 須賀慶治 様
      - 4 津高艇友会 会長 古川昭一 様
      - 5 旭丘高校校長 野々部幸蔵
    4. ボート部顧問-現役紹介、約3-5分
    5. 乾杯、愛知県立旭丘高校 元校長 小木曾照行 様
  - ・ 15:30-45
    6. 歓談 乾杯終了後在校生の生演奏15分間(15:30分頃より)  
演奏者の紹介 第1バイオリン 滝下瑛子  
第2バイオリン 七沢英毅  
ビオラ 後藤順子  
チェロ 佐藤寛子  
設置担当 水谷
  - ・ 15:45-17:10
    7. 現役のビデオ放映 プロジェクター設置担当 水谷  
ひな壇のマイクを撤去し、正面にプロジェクターのスクリーンを  
設置して、ビデオをエンドレスで放映する  
放映予定ビデオ 平成11年熊本国体PRビデオ  
平成12年熊本国体のレース(予選、準決勝、決勝)  
昭和54年琵琶湖総体シェルフォア-決勝  
昭和64年日艇庫の「熱血クラブ通信」  
クローズアップ現代「中高齢とスポーツ」樋口出演
  - ・ 17:10頃より
    8. 校歌と応援歌の合唱 一合唱指導一 水谷  
部歌(木曾の高嶺) 1. 2. 5番  
1中校歌 1. 2. 8番  
旭丘高校校歌 1. 2. 3番
    9. 各100周年事業の責任者の紹介  
新艇寄贈 丹羽忠司 8期  
琵琶湖就航 伊藤壽洪 12期  
ゴ'67コ'ベ 古村禎次 17期  
津高対抗戦 伊神基博 12期  
記念品 早川 真 43期  
100年誌 谷村龍兒 12期  
名簿作成 渡辺 豊 19期  
祝賀会 田淵哲雄 19期  
深山 靖 12期  
会計 桑山栄一 19期
    10. 万歳三唱-旭丘高校ボート部元顧問 吉田邦夫
    11. 閉会の辞-旭丘高校漕友会 副会長 伊藤壽洪

### (6) 解散

出口前で現役生全員が列を作り拍手で見送る  
出口後に漕友会役員と準備会役員が見送る  
名札と引き換えに記念品を渡す-数名受付に配置 配置責任 森田



# デンマーク・コペンハーゲン大学ニルス・セーガ博士を招聘して

樋口 満(旭丘19期)

愛知一中・旭丘高校ボート部の100周年記念事業の一つとして、スカルの元世界チャンピオンでありボート(ローイング)の生理学の世界的権威であるデンマーク・コペンハーゲン大学教授ニルス・セーガ博士(= Dr. Niels Secher)を名古屋に招聘し、ボート(ローイング)に関する学術的交流とスポーツ活動交流を多くの関係者のご協力により成功裏に行うことができたことをまず感謝したい。セーガ博士にはコペンハーゲン大学病院の麻酔科主任として超多忙な中を時間を割いて来日していただき、私たち漕友会のみならず、東京、名古屋の多くのローイング愛好者にとって有意義な時を過ごすことができたものと確信している。以下に、セーガ博士の日本滞在中の学術・スポーツ交流の様子を報告する。

## 1) 東京地区における交流

セーガ博士は平成13年11月6日(火)に成田に来日し、東京で「ローイングの生理学と健康増進」、「ローイングの循環生理学」に関する講演を行い、スポーツ科学の研究者と交流するとともに、新設されたばかりの国立スポーツ科学センター(JISS)を訪問し、センターに設置された最新鋭の実験装置で



あるローイングタンクを見学し、セーガ博士自身が実際にローイングを行い、本装置を活用するに当たっての様々な助言を行った。また、三菱ボートクラブ(MBC)を訪問し、戸田コースにて、シニアボート選手とローイング後、クラブハウスにて「ローイングの健康増進効果とデンマークのスポーツライフ」と題する講演会を行うなど交流を深めた。

## 2) 名古屋地区における交流

9日の夕方に名古屋へ到着後、名古屋マリOTTアソシアホテルにチェックイン後、直ちに記念事業の実行委員会メンバーと会食・懇談を行った。10日の名古屋地区での交流は100周年の記念事業として、漕友会のみならず、名古屋地区の高校・大学、そしてOBのボート選手や愛好者を招待してのセーガ博士と樋口によるスポーツ交流(中川運河)と講演会(港区役所講堂)を行った。当日午前のローイング講習会は、はじめにセーガ博士が実際にシングルスカルに乗ってお手本を示し、その後、高校生、大学生ボート選手約20名がそれぞれシングルスカルを漕ぎ、セーガ博士、樋口がモーターボートにて伴漕し、それぞれの選手に対してポイントを指摘する形で行った。このローイング交流会にはボート部OBも多数参集すると共に、シドニーオリンピックに参加した地元ボート選手も一緒になってボートを漕ぐことができた。当日は晴天・微風と天候にも恵まれ、すばらしい交流会となった。午後の講演会は愛知県ボート協会と名古屋ボート協会の後援を受けて開催され、高校生から中高年者までボートを愛する100名以上の選手、OBの参加があり、セーガ博士と樋口のローイングに関する講演に熱心に耳を傾け、質疑応答にも熱気が感じられた。名古屋でのスポーツ交流と講演会は、

翌日の新聞の県内版でも報道された。セーガ博士は大学病院の業務や研究活動で多忙なため、翌11日(日)の早朝に、名古屋空港から成田経由で帰国され、100周年記念パーティには残念ながら出席できなかったが、お祝いのメッセージを残していただいた。今回の招聘による来日は、セーガ博士自身にとってもひじょうに感慨深いものであり、また、セーガ博士を通してデンマークにおけるポートの普及にも貢献できる可能性を示したことから、きわめて有意義な国際交流であったと考えられる。最後に今回のセーガ博士の招聘はスカンジナビア・ニッポン ササカワ財団の助成により行うことができたことをここに記して感謝の意を表する次第である。

## 漕友百年記念誌の上梓を終えて

「漕友百年誌」編集責任者 谷村龍児(旭丘12期)

「漕友百年記念誌」の上梓を平成13年11月11日開催の百周年記念祝賀会に間に合わせることが出来、まずはホッとしました。実行委員会メンバーのご協力によりまずまずの記念誌が出来たことを感謝致します。今回の編集作業を振り返りますと、ある時は深夜まで、又ある時は布団の中で突如気が付いたことを整理するため、夜中の2時か3時に起き出したことが何度もありました。正直言ってこの担当から逃げ出したい、投げ出したい。どうしてこんな仕事を引き受けたのだろう、と思ったこともありましたが最後まで自分なりに頑張ったつもりです。



当初原稿締切日を7月31日としましたが、集まりが悪く、その後追加の募集を呼び掛け、8月に数多くの原稿が寄せられました。そして最終の原稿を安城印刷様へ送付完了したのは9月20日でした。この日は印刷会社での初稿刷り上り予定日であった9月13日を1週間も過ぎていたのです。

編集途中での私にとって最大のピンチは、この時期に数人分の原稿が行方不明になった時です。投稿原稿は直接私の元にメールや郵送で送られてきたものもありましたが、大半は、特に特別寄稿については準備委員会の席で「預かっております」と手渡されました。入手した50人分の原稿はその都度、どなたが書かれた原稿で、どんなタイトルの原稿であるかをこまめにその場で記録してきました。一方、家でも原稿は投稿者をグループ別して大封筒に入れて散逸を防ぐようにしておりました。

ところが、ある日の準備委員会の席で、原稿を委員の方々に手分けしてパソコン入力していただくため当日の出席者に配布したことがありました。その時まで大切に預かってきた原稿を記録せず配布してしまい、その後どなたに、どの原稿を渡したかが分からなくなりました。私の気がゆるんだことで、その後送られてくるはずのメール原稿が期限内に届かず、原稿の検索をお願いした方々にもご迷惑をお掛けしました。

しかし、最終的には「投稿したのに、掲載されていない」ということは無かったと確信しております。

出来上がった記念誌に改めて目を通しますと誤字等が散見され、私の校正が不十分であったと反省した次第です。皆様からはいろいろなお意見もあるでしょうが、限られた時間の中で、ポート部創立100周年に恥ずかしくない記念誌に仕上げようと努力した今回の苦労を少しでもご理解いただき、私の力不足であった点をお許しいただきたいと存じます。

## トピックス

### 旭丘・第39期の杉藤洋志さんが、ボート日本ジュニア代表コーチに

2004年2月7日発行の朝日新聞「東海再見」に、ボート日本ジュニア代表コーチとなった旭丘高校ボート部OBの杉藤洋志さんが6段抜きの記事で紹介されました。記事は杉藤さんの旭丘高校ボート部時代の厳しかった練習の思い出や現役生徒の活動風景で占められています。紙面に紹介された杉藤さんのプロフィールをそのまま記載します。

#### すぎとう・ひろし

69年静岡県浜松市生まれ。名古屋市に移り、旭丘高校でボートを始める。北海道大に進学後、頭角を現し、世界選手権に4回出場。94年広島アジア大会のダブルスカルで小日向謙一と組み、優勝した。95年に引退し、カナダへコーチ留学。現在はプロコーチとして日本ジュニア代表と東レ滋賀を指導。



### 長谷川会長から寄贈のボートが納艇

長谷川会長から漕友会に寄贈されたシングルスカル新艇が、平成16年2月7日中川運河・名古屋港漕艇センター艇庫（旭丘高校艇庫）に納艇されました。この艇は、漕友会の会員の方なら誰でも、いつでも、気兼ね無く利用出来るようにと、会長から寄贈されたものです。艇は「烈鯨」と命名され、5月5日、旭丘艇庫にて贈呈式と進水式が行われる予定です。

## WEB担当よりのお願い

旭丘高校漕友会サイト（ホームページ）は2001年8月初旬に会員諸氏に紹介されて以来、7ヶ月で2000件を超すアクセスがありました。少ないと言えませんが、旭丘高校漕友会という限られた対象向けのサイトということを考え合わせると、「それなりに…」といったところでしょうか。事実、何人かの方が定期的に見てくださっているように聞いています。

せっかく立ち上げたサイトですから、会員諸氏が更新を楽しみに待ってくださる程度の水準は維持したいと考えます。そこで思うのは、「皆様からの積極的な情報提供がほしい!」ということです。

現役諸君にはレース結果や写真を提供していただきたいと思います。

メンバー紹介のページについては期ごとにどなたかが素材（写真やコメント）をとりまとめ送っていただけたら...と思います。WEBページへの仕上げは私で宜しければさせていただきますし、写真等は責任もって返却いたします。

手間のかからないところでは、掲示板への書き込みもサイトを盛り上げる上で欠かせません。

積極的に参加する方が増えれば増えるだけ、サイトは充実し価値も増すことと思います。

微力ながらお手伝いさせていただきますので、宜しくお願いします。

## 平成16年旭丘高校漕友会事業予定

- |                      |           |         |
|----------------------|-----------|---------|
| 1. 漕友会総会             | 1月 3日     | 百楽      |
| 2. 「漕友」発行            | 2月22日     |         |
| 3. 中川運河ロングレース        | 3月28日     | 小栗橋～艇庫  |
| 4. マスターズレガッタ         | 4月25日     | 愛知池漕艇場  |
| 5. 新艇贈呈式、進水式         | 5月 5日     | 旭丘高校艇庫前 |
| 6. 信毎諏訪湖レガッタ         | 5月16日     | 下諏訪町漕艇場 |
| 7. 名古屋市民スポーツ祭        | 8月 8日     | 中川運河漕艇場 |
| 8. 琵琶湖周航             | 8月28日～29日 |         |
| 9. 名古屋レガッタ           | 9月26日     | 中川運河漕艇場 |
| 10. グリーン・チャンピオン・レガッタ | 10月24日    | 愛知池漕艇場  |



## 募集！ レース出場者

上記行事への参加者を募集しています。一人でも多くの参加をお待ちしています

## 2001年戦績

[出場種目艇の見方]

M1X : 男子シングルスカル

M2X : 男子ダブルスカル

M4X+ : 男子舵手付きクォドルブル

W1X : 女子シングルスカル

W2X : 女子ダブルスカル

W4X+ : 女子舵手付きクォドルブル

### ■第12回全国高校選抜大会 (静岡県・天竜川 2000m)

2001/03/24-25

M4X+ (成瀬・野口・川浦・奥村・中川)

予選2組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	宇和島東高	愛媛	6'43"49	1	→準決勝
2	慶應義塾志木高	埼玉	6'58"93	3	
3	関西高	岡山	7'04"55	4	
4	石巻高	宮城	7'12"78	5	
5	旭丘高	愛知	6'58"15	2	→準決勝

準決勝2組

1	関西高	岡山	7'02"58	6	
2	美方高	福井	6'46"12	2	→決勝
3	今治南高	愛媛	6'42"45	1	→決勝
4	旭丘高	愛知	6'47"56	3	→順決
5	膳所高	滋賀	6'50"70	4	→順決
6	慶應義塾志木高	埼玉	6'53"85	5	

順位決定

2	横浜商業高	神奈川県	7'05"47	4	8位
3	膳所高	滋賀	7'00"34	2	6位
4	旭丘高	愛知	6'59"93	1	5位
5	佐沼高	宮城	7'02"47	3	7位

### ■2001 高校総体愛知県予選 (愛知池 1000m)

2001/05/26-27

M4X+ (成瀬・野口・川浦・奥村・中川)

予選 A

レーン	クルー名	タイム	着順	
1	東郷高B	3'28"03	4	
2	旭丘高	3'08"24	1	→準決勝
3	科技高豊田A	3'13"84	2	→準決勝
4	猿投農林高B	3'23"75	3	

決勝 F

1	科技高豊田B	3'13"41	4	
2	科技高豊田A	3'07"22	3	→東海大会
3	旭丘高	3'01"89	1	→全国大会
4	猿投農林高A	3'06"71	2	→東海大会

M2X

予選

2	旭丘高(弓削・三谷)	3'16"55	1	→決勝
3	豊田北高	3'22"19	2	

決勝 D

1	豊田北高	3'11"39	3	→東海大会
2	猿投農林高	3'00"56	1	→全国大会
3	旭丘高(弓削・三谷)	3'02"78	2	→東海大会

M1X

予選 A

1	豊田北高B(角)	3'57"03	3	
2	猿投農林高A(生田)	3'34"85	1	→準決勝
3	東郷高(森)	3'44"50	2	→準決勝
4	旭丘高(佐伯)	4'01"56	4	

W4X+ (猪飼・米村・大森・森崎・田中)

予選 B

2	旭丘高	不明	2	
3	猿投農林高A	不明	1	→決勝

決勝 D

1	旭丘高	3'26"85	2	→東海大会
2	猿投農林高A	3'16"96	1	→全国大会
3	猿投農林高B	3'33"24	3	→東海大会

W1X

予選 A

1	猿投農林高B(安部)	4'14"48	3	
2	東郷高A(牧田)	4'01"05	1	→決勝
3	旭丘高B(北村)	4'10"31	2	

予選

1	東郷高B(河端)	4'57"06	3	
2	旭丘高A(木村)	4'01"58	2	
3	猿投農林高A(三輪)	3'55"66	1	→決勝

決勝 D

1	旭丘高A(木村)	3'49"18	2	→東海大会
2	猿投農林高A(三輪)	3'44"44	1	→全国大会
3	東郷高A(牧田)	3'49"66	3	→東海大会
4	猿投農林高B(安部)	4'04"76	4	

### ■2001 東海高校総体 (三重県・奥伊勢湖 1000m)

2001/06/23-24

M4X+ (成瀬・野口・川浦・奥村・中川)

予選 A

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	美濃加茂高	岐阜	3'14"13	1	→準決勝
3	旭丘高	愛知	3'15"77	2	→準決勝
4	沼津工業高	静岡	3'17"02	3	

準決勝 G

1	科技高豊田	愛知	3'32"38	4	
2	新居高	静岡	3'22"44	1	→決勝
3	旭丘高	愛知	3'27"87	2	→決勝
4	宮川高A	三重	3'30"52	3	

決勝

1	新居高	静岡	3'29"84	1	
2	旭丘高	愛知	3'35"41	4	
3	二俣高	静岡	3'33"21	2	
4	美濃加茂高	岐阜	3'33"50	3	

M2X(弓削・三谷)

予選 B

1	沼津工業高	静岡	3'27"76	1	→準決勝
2	旭丘高	愛知	3'29"22	3	
3	津高A	三重	3'30"83	4	
4	恵那高A	岐阜	3'29"04	2	→準決勝

敗復 D

2	豊田北高	愛知	3'39"06	2	
3	旭丘高	愛知	3'33"93	1	→準決勝
4	津高B	三重	3'44"86	3	

準決勝 F

1	旭丘高	愛知	3'55"07	3	
2	沼津工業高	静岡	3'52"52	2	→決勝
3	八百津高	岐阜	3'51"46	1	→決勝
4	恵那高A	岐阜	3'56"11	4	

W4X+ (猪飼・米村・大森・森崎・田中)

予選 B

1	恵那高	岐阜	3'44"81	1	→準決勝
2					
3	沼津東高	静岡	3'47"23	2	→準決勝
4	旭丘高	愛知	3'51"54	3	

敗復 E

2	猿投農林高B	愛知	3'57"59	2	
3	旭丘高	愛知	3'51"17	1	→準決勝

準決勝 F

1	旭丘高	愛知	4'08"64	4	
2	恵那高	岐阜	4'05"32	2	→決勝
3	猿投農林高A	愛知	3'55"14	1	→決勝
4	沼津東高	静岡	4'06"95	3	

W1X

予選 C

2	東濃実業高(肥田)	岐阜	4'08"10	1	→準決勝
3	沼津東高(山田)	静岡	4'11"40	2	→準決勝
4	旭丘高(木村)	愛知	4'21"32	3	

敗復 E

2	新居高(堀田)	静岡	4' 17"04	2	
3	旭丘高(木村)	愛知	4' 13"42	1	→準決勝

準決勝 F

1	旭丘高(木村)	愛知	4' 23"51	4	
2	恵那高(山口)	岐阜	4' 14"75	3	
3	加茂高(奥村)	岐阜	4' 10"40	1	→決勝
4	沼津東高(山田)	静岡	4' 14"44	2	→決勝

■2001 国体愛知県予選 (愛知池 1000m)

2001/07/08

少年M2X

予選

レーン	クルー名	タイム	着順	
3	猿投農林高C	3' 55"73	3	
4	東郷高	3' 42"31	2	→決勝
5	旭丘高A	3' 38"71	1	→決勝

予選 B

3	猿投農林高B	3' 54"23	4	
4	科技高豊田	3' 36"03	2	→決勝
5	猿投農林高A	3' 34"29	1	→決勝
6	旭丘高B	3' 41"95	3	

決勝

3	東郷高	3' 45"66	4	
4	科技高豊田	3' 45"22	3	
5	猿投農林高A	3' 32"78	1	→全国大会
6	旭丘高A	3' 38"79	2	

少年M1X

1回戦

2	科技高豊田A(藤澤)	3' 58"73	4	
3	科技高豊田B(伊藤)	3' 57"47	3	
4	旭丘高B(中川)	3' 47"48	1	
5	旭丘高A(川浦)	3' 48"66	2	
6	東郷高(森)	4' 04"19	5	

2回戦

2	科技高豊田A(藤澤)	4' 09"02	4	
3	旭丘高A(川浦)	3' 53"34	1	→東海ブロック
4	旭丘高B(中川)	3' 57"89	2	
5	科技高豊田B(伊藤)	4' 07"85	3	
6	東郷高(森)	4' 10"43	5	

少年W1X

1回戦

3	旭丘高(北村)	4' 36"20	3	
4	東郷高B(牧田)	4' 28"86	2	
5	東郷高A(大畑)	4' 42"99	4	
6	猿投農林高(三輪)	4' 15"42	1	

2回戦

3	旭丘高(北村)	4' 41"48	3	
4	猿投農林高(三輪)	4' 21"48	1	→東海ブロック
5	東郷高B(牧田)	4' 28"39	2	
6	東郷高A(大畑)	4' 41"85	4	

■国体東海ブロック大会 (静岡県・天竜川 1000m)

2001/07/21

少年M1X

1回戦

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	静岡県選抜	静岡	3' 35"17	2	
2	岐阜選抜	岐阜	3' 38"27	3	
3	宮川高	三重	3' 43"65	4	
4	旭丘高(川浦)	愛知	3' 32"08	1	

2回戦

1	宮川高	三重	3' 43"25	4	
2	静岡県選抜	静岡	3' 37"96	2	→宮城国体
3	旭丘高(川浦)	愛知	3' 34"19	1	→宮城国体
4	岐阜選抜	岐阜	3' 41"86	3	

■全日本高校選手権(インターハイ)(熊本県・斑蛇口湖 1000m)

2001/08/09-12

M4X+(成瀬・野口・川浦・奥村・中川)

予選2組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	小松高	石川	3' 27"30	5	
2	美里工業高	沖縄	3' 23"86	4	
3	横浜商業高	神奈川	3' 21"49	3	→準々決勝
4	旭丘高	愛知	3' 20"89	2	→準々決勝
5	江津工業高	島根	3' 35"43	6	
6	石巻高	宮城	3' 19"69	1	→準々決勝

準々決勝2組

1	山田高	岩手	3' 20"15	3	
2	新居高	静岡	3' 16"53	1	→準決勝
3	旭丘高	愛知	3' 19"66	2	→準決勝
4	新潟南高	新潟	3' 25"06	4	
5	潮来高	茨城	3' 26"71	6	
6	早大高等学院	東京	3' 25"65	5	

準決勝2組

1	関西高	岡山	3' 27"84	5	
2	美方高	福井	3' 24"22	1	→決勝
3	本荘高	秋田	3' 25"38	3	→決勝
4	洲本実業高	兵庫	3' 26"57	4	
5	新居高	静岡	3' 24"57	2	→決勝
6	旭丘高	愛知	3' 28"08	6	

■第56回国民体育大会(みやぎ国体)(宮城県・長沼 1000m)

2001/09/08-11

少年M1X

予選A

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
4	塩釜高(大元)	宮城	3' 48"62	4	
5	宇和島水産高	愛媛	3' 40"39	1	→準決勝
6	関西高(岡田)	岡山	4' 00"83	5	
7	旭丘高(川浦)	愛知	3' 43"90	3	→準決勝
8	唐津西高(宮谷)	佐賀	3' 42"18	2	→準決勝

準決勝C組

	洲本実高(山口)	兵庫	4' 00"97	1	→決勝
	大沢野工高(福山)	富山	4' 01"14	2	→決勝
	土浦日大高(根本)	茨城	4' 08"86	3	
	旭丘高(川浦)	愛知	4' 14"10	4	

■2001 愛知県高校新人戦 (愛知池 1000m)

2001/10/06-07

M2X

予選 A

レーン	クルー名	タイム	着順	
1	旭丘高C(中村・稲本)	3' 56"13	4	
2	旭丘高A(弓削・三谷)	3' 29"98	1	→決勝
3	猿投農林高A	3' 43"33	2	→決勝
4	東郷高B	3' 49"68	3	

予選 B

2	旭丘高B(三好・阪井)	3' 51"57	3	
3	東郷高A	3' 45"79	1	→決勝
4	猿投農林高B	3' 46"95	2	

決勝 D

1	猿投農林高B	3' 53"98	3	
2	猿投農林高A	3' 55"45	4	
3	旭丘高A	3' 44"64	1	→中部選抜
4	東郷高A	3' 47"82	2	→中部選抜

M1X

予選 A

1	東郷高B(高嶋)			棄権
2	旭丘高(山本)	4' 06"66	3	
3	豊田北高A(西川)	3' 49"51	1	→決勝
4	猿投農林高B(森)	4' 04"52	2	

決勝 E

1	旭丘高(山本)	4' 26"02	4	
2	東郷高(黒須)	4' 22"00	3	
3	豊田北高A(西川)	4' 02"20	1	→中部選抜
4	猿投農林高B(森)	4' 16"02	2	→中部選抜

W2X(伊藤・土居)

決勝 A

2	東郷高	4'02"11	3	
3	猿投農林高	3'49"36	1	
4	旭丘高	4'01"37	2	

決勝 B

2	東郷高	4'01"94	2	
3	猿投農林高	3'45"43	1	→中部選抜
4	旭丘高	4'02"25	3	

代表決定 C

2	東郷高	4'22"60	2	
3	旭丘高	4'17"82	1	→中部選抜

W1X

予選

1	猿投農林高B(藪)	4'37"28	4	
2	豊田北高(柳田)	4'35"22	3	
3	東郷高A(大畑)	4'28"94	2	
4	旭丘高B(大畑)	4'20"66	1	→決勝

予選

1	東郷高C(河端)	5'15"93	4	
2	旭丘高A(北村)	4'24"91	1	→決勝
3	猿投農林高A(福島)	4'30"70	2	
4	東郷高B(松村)	4'55"95	3	

決勝 E

1	猿投農林高A(福島)	4'39"94	2	→中部選抜
2	旭丘高A(北村)	4'43"83	3	
3	旭丘高B(大畑)	4'50"77	4	
4	東郷高A(大畑)	4'37"77	1	→中部選抜

■中部高校選抜大会 (愛知池 1000m)

2001/10/20-21

M2X(三好・阪井)

予選 C

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
3	津川高	新潟2	3'48"75	3	
4	小浜水産高	福井1	3'31"78	1	→準決勝
5	旭丘高	愛知1	3'39"68	2	→準決勝
6	諏訪清陵高	長野2	3'50"51	4	

準決

2	旭丘高	愛知1	3'28"36	2	→決勝
3	沼津工業高	静岡1	3'29"54	3	→決勝
4	小浜水産高	福井1	3'26"14	1	→決勝
5	八尾高	富山1	3'30"39	4	
6	大沢野工業高	富山2	3'38"83	5	

決勝 I

1	東濃実業高	岐阜2	3'34"75	6	
2	美濃加茂高	岐阜1	3'23"45	2	→全国選抜
3	小浜水産高	福井1	3'22"54	1	→全国選抜
4	旭丘高	愛知1	3'25"29	3	→全国選抜
5	沼津工業高	静岡1	3'29"66	5	
6	美方高	福井2	3'26"31	4	→全国選抜

W2X(伊藤・土居)

予選 B

2	小松高	石川2	4'14"26	4	
3	若狭高	福井2	4'18"87	5	
4	岡谷東高	長野1	4'11"61	3	
5	新居高	静岡1	3'57"83	1	→準決勝
6	旭丘高	愛知2	4'01"33	2	→準決勝

準決勝 G

2	津商業高A	三重1	4'05"24	4	
3	津川高	新潟1	4'00"73	3	→決勝
4	猿投農林高	愛知1	3'47"78	1	→決勝
5	旭丘高	愛知2	3'58"43	2	→決勝
6	八尾高A	富山1	4'06"90	5	

決勝 I

1	旭丘高	愛知2	3'49"00	2	→全国選抜
2	津川高	新潟1	3'55"96	5	→全国選抜
3	東濃実業高	岐阜1	3'50"18	4	
4	恵那高	岐阜2	3'56"90	6	
5	新居高	静岡1	3'49"27	3	
6	猿投農林高	愛知1	3'42"73	1	→全国選抜

2002年戦績

■第13回全国高校選抜大会 (静岡県・天竜川 2000m)

2002/03/23-24

M2X(弓削・三谷)

予選3組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	佐沼高	宮城	7'40"55	4	
2	日田三隈高	大分	7'25"24	1	→準決勝
3	旭丘高	愛知	7'33"90	2	→準決勝
4	西市高	山口	7'42"60	5	
5	越ヶ谷高	埼玉	7'39"04	3	

準決勝1組

1	宇和島東高	愛媛	7'47"85	5	
2	旭丘高	愛知	7'45"07	4	→順位決定
3	美濃加茂高	岐阜	7'41"74	3	→順位決定
4	美方高	福井	7'37"74	2	→決勝
5	日田三隈高	大分	7'36"42	1	→決勝
6	大津高	滋賀	7'48"26	6	

順位決定

1	瀬田工業高	滋賀	7'41"66	2	6位
2	日田高	大分	7'35"11	1	5位
3	美濃加茂高	岐阜	7'44"58	3	7位
4	旭丘高	愛知	7'45"50	4	8位

W2X(伊藤・土居)

予選3組

1	横浜商業高	神奈川	8'20"88	2	→準決勝
2	旭丘高	愛知	8'21"29	3	
3	今治西高	愛媛	8'14"93	1	→準決勝
4	由利高	秋田	8'53"83	4	
5	大津高	滋賀	9'10"76	5	

敗復1組

1	桜ノ宮高	大阪	8'45"28	3	
2	浦和第一女子高	埼玉	8'43"54	2	→準決勝
3	旭丘高	愛知	8'30"24	1	→準決勝
4	西市高	山口	8'59"84	4	
5	大津高	滋賀	9'01"67	5	

準決勝2組

1	旭丘高	愛知	8'05"74	2	→決勝
2	米子南高	鳥取	8'21"04	4	→順位決定
3	横浜商業高	神奈川	8'10"44	3	→順位決定
4	宇和島東高	愛媛	8'02"07	1	→決勝
5	湖南高	福島	8'29"68	5	
6	岡谷東高	長野	8'31"21	6	

決勝

1	猿投農林高	愛知	8'01"66	2	準優勝
2	今治西高	愛媛	7'58"39	1	優勝
3	旭丘高	愛知	8'17"58	4	4位
4	宇和島東高	愛媛	8'10"99	3	3位

■2002 高校総体愛知県予選 (愛知池 1000m)

2002/05/25-26

M4X+ (山本・阪井・三好・稲本・中村)

予選A

レーン	クルー名	タイム	着順	
3	旭丘高	3'40"73	3	
4	東郷高A	3'36"70	2	→決勝
5	猿投農林高A	3'29"18	1	→決勝
6	東郷高C	4'09"35	4	

決勝

1	豊田北高	3'34"12	4	
2	東郷高B	3'36"50	6	
3	東郷高A	3'31"70	2	→東海大会
4	猿投農林高A	3'23"79	1	→全国大会
5	猿投農林高B	3'32"69	3	→東海大会
6	旭丘高	3'34"92	5	

M2X(弓削・三谷)

予選B

2	猿投農林高D	4'13"53	4	
3	旭丘高	3'55"10	1	→決勝
4	東郷高A	4'01"14	3	
5	猿投農林高B	4'00"21	2	
6	愛知(オープン)	5'14"19	5	

決勝

1	猿投農林高D	4'03"70	6	
2	東郷高A	3'57"11	5	
3	科技高豊田	3'41"52	1	→全国大会
4	旭丘高	3'49"35	3	→東海大会
5	猿投農林高A	3'43"93	2	→東海大会
6	猿投農林高C	4'53"89	4	

M1X

予選A

3	猿投農林高B(森)	4'25"91	2	→決勝
4	豊田北高(西川)	4'06"81	1	→決勝
5	旭丘高B(平岡)	4'33"51	4	
6	科技高豊田A(蟹)	4'29"39	3	

予選B

3	旭丘高A(佐伯)	4'25"91	1	→決勝
4	猿投農林高A(生田)	4'06"81	2	
5	科技高豊田B(金武)	4'33"51	3	

決勝

1	科技高豊田A(蟹)	4'12"00	4	
2	猿投農林高A(生田)	4'04"23	2	→東海大会
3	旭丘高A(佐伯)			除外
4	豊田北高(西川)	3'51"47	1	→全国大会
5	猿投農林高B(森)	4'08"52	3	→東海大会
6	旭丘高B(平岡)	4'12"69	5	

W4X+(石田・伊藤・北村・大畑・土居)

予選B

3	猿投農林高A	3'56"71	2	
4	旭丘高	3'52"39	1	→決勝

決勝

3	豊田北高	3'59"18	3	→東海大会
4	旭丘高	3'46"16	1	→全国大会
5	猿投農林高A	3'51"51	2	→東海大会

■第49回 東海高校総体 (愛知池 1000m) 2002/06/22-23  
M2X(月削・三谷)

予選A組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	旭丘高	愛知3	3'27"06	3	
2	加茂高	岐阜2	3'28"91	4	
3	津高	三重1	4'07"16	6	
4	科技高豊田	愛知1	3'20"73	2	→決勝
5	沼津工業高	静岡2	3'18"90	1	→決勝
6	宮川高B	三重3	4'04"04	5	

敗復C組

2	宮川高A	三重2	3'54"63	4	
3	旭丘高	愛知3	3'22"69	1	→決勝
4	東濃実業高	岐阜3	3'30"75	3	
5	猿投農林高	愛知2	3'28"54	2	

決勝E組

1	恵那高	岐阜1	3'27"30	5	
2	科技高豊田	愛知1	3'17"24	1	優勝
3	沼津工業高	静岡2	3'20"94	3	3位
4	天竜林業高	静岡1	3'18"70	2	2位
5	旭丘高	愛知3	3'25"18	4	

W4X+(石田・伊藤・北村・大畑・土居)

予選B組

2	豊田北高	愛知3	3'51"07	5	
3	沼津東高	静岡1	3'40"79	2	→決勝
4	旭丘高	愛知1	3'45"40	3	
5	加茂高	岐阜2	3'39"26	1	→決勝
6	天竜林業高	静岡3	3'47"76	4	

敗復D組

3	天竜林業高	静岡3	3'44"23	2	
4	旭丘高	愛知1	3'39"45	1	→決勝
5	宮川高	三重1	4'36"70	3	

決勝E組

1	猿投農林高	愛知2	3'39"11	4	
2	加茂高	岐阜2	3'36"30	3	3位
3	八百津高A	岐阜1	3'29"94	1	優勝
4	沼津東高	静岡1	3'33"57	2	2位
5	旭丘高	愛知1	3'41"03	5	

■全日本高校選手権(インターハイ) (茨城県・潮来 1000m) 2002/08/02-05

W4X+(石田・伊藤・北村・大畑・土居)

予選5組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	諏訪実業高	長野	4'28"05	4	
3	鹿屋高	鹿児島	4'20"57	2	→準々決勝
4	小見川高	千葉	4'24"99	3	→準々決勝
5	旭丘高	愛知	4'03"66	1	→準々決勝
6	坂出高	香川	4'36"45	5	

準々決勝2組

1	佐野女子高	栃木	4'01"57	6	
2	鹿屋高	鹿児島	3'49"77	3	
3	八幡商業高	滋賀	3'50"28	4	
4	浦和第一女子高	埼玉	3'40"27	2	→準決勝
5	旭丘高	愛知	3'40"10	1	→準決勝
6	大村城南高	長崎	3'58"14	5	

準決勝2組

1	本荘高	秋田	3'43"75	6	
2	美方高	福井	3'39"41	4	
3	旭丘高	愛知	3'36"84	2	→決勝
4	熊本学園大付属高	熊本	3'40"57	5	
5	沼津東高	静岡	3'37"60	3	→決勝
6	宇和島東高	愛媛	3'35"45	1	→決勝

決勝

1	八百津高	岐阜	3'57"70	5	
2	旭丘高	愛知	3'54"54	3	3位
3	宇和島東高	愛媛	3'52"27	1	優勝
4	八尾高	富山	3'53"17	2	2位
5	沼津東高	静岡	3'59"40	6	
6	浦和第一女子高	埼玉	3'56"62	4	

■国体東海ブロック大会 (岐阜県・川辺 1000m) 2002/08/18  
少年W1X

1回戦

レーン	クルー名	県名	タイム	着順
1	岐阜選抜(後藤)	岐阜	4'18"89	2
2	津商業高(石田)	三重	4'31"16	4
3	旭丘高(伊藤)	愛知	4'14"82	1
4	静岡県選抜(梶村)	静岡	4'23"51	3

2回戦

1	静岡県選抜(梶村)	静岡	4'19"42	3	
2	旭丘高(伊藤)	愛知	4'16"29	1	→全国大会
3	岐阜選抜(後藤)	岐阜	4'17"24	2	→全国大会
4	津商業高(石田)	三重	4'44"58	4	

■第57回国民体育大会(高知国体) (高知県・四万十川 1000m) 2002/09/21-24  
少年W1X

予選C組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	日田高(河崎)	大分	3'53"24	1	→準決勝
2	土浦日大高(佐渡)	茨城	4'11"18	5	
3	今治西高(阿部)	愛媛	4'01"37	3	→準決勝
4	旭丘高(伊藤)	愛知	3'58"81	2	→準決勝
5	阿賀黎明高(伊藤)	新潟	4'09"15	4	

準決勝A組

2	松江北高(林)	島根	3'50"14	4	
3	旭丘高(伊藤)	愛知	3'36"35	3	
4	東大津高(玉川)	滋賀	3'33"17	2	→5-8位
5	熊本学園大付高	熊本	3'32"10	1	→決勝

■愛知県高校新人戦 (愛知池 1000m) 2002/10/12-13  
M4X+

予選B

レーン	クルー名	タイム	着順	
3	猿投農林高C	3'52"41	2	
4	猿投農林高A	3'24"48	1	→決勝
5	旭丘高	3'57"09	3	



## M2X

予選A				
2	豊田北高B	4' 11" 65	3	
3	東郷高A	3' 47" 16	1	→準決勝
4	猿投農林高B	4' 06" 31	2	→準決勝
5	旭丘高C(佐竹・大西)	4' 11" 86	4	

予選B				
3	旭丘高B(中村・稲本)	3' 57" 77	2	→準決勝
4	猿投農林高A	3' 42" 33	1	→準決勝
5	東郷高B	4' 26" 95	3	

予選C				
3	愛知高	4' 52" 32	OPEN	
4	豊田北高A	3' 45" 72	2	→準決勝
5	旭丘高A(飯井・三好)	3' 34" 01	1	→準決勝

決勝G				
2	猿投農林高A	3' 35" 04	2	→中部選抜
3	旭丘高A(飯井・三好)	3' 27" 55	1	→中部選抜
4	旭丘高B(中村・稲本)	3' 42" 93	4	
5	豊田北高A	3' 39" 40	3	

## M1X

予選A				
2	東郷高F(紙本)	4' 38" 43	3	
3	猿投農林高B(中根)		棄権	
4	東郷高A(黒須)	4' 03" 92	1	→準決勝
5	旭丘高B(平岡)	4' 05" 31	2	→準決勝

予選B				
2	東郷高E(天澤)	4' 37" 75	3	
3	猿投農林高A(小寺)	4' 14" 93	1	→準決勝
4	東郷高B(菅澤)	4' 19" 62	2	→準決勝
5	旭丘高C(本田)	4' 46" 09	4	

予選C				
3	東郷高C(村瀬)	4' 33" 13	2	→準決勝
4	旭丘高A(山本)	4' 09" 52	1	→準決勝
5	東郷高D(野々山)	4' 41" 19	3	

決勝H				
2	東郷高B(菅澤)	4' 06" 75	4	
3	東郷高A(黒須)	3' 52" 19	2	→中部選抜
4	旭丘高B(平岡)	3' 50" 28	1	→中部選抜
5	旭丘高A(山本)	3' 54" 82	3	

## W2X

予選A				
3	猿投農林高B	4' 22" 31	2	
4	東郷高	4' 34" 24	3	
5	旭丘高A(土居・大畑)	4' 06" 63	1	→決勝

予選B				
3	猿投農林高A	4' 00" 31	1	→決勝
4	旭丘高B(中野・奥村)	4' 23" 31	2	

決勝D				
2	旭丘高B(中野・奥村)	4' 18" 12	4	
3	猿投農林高A	3' 51" 28	2	→中部選抜
4	旭丘高A(土居・大畑)	3' 47" 98	1	→中部選抜
5	東郷高	4' 15" 17	3	

## W1X

予選A				
2	旭丘高C(田上)	4' 48" 18	3	
3	東郷高A(大畑)	4' 38" 15	1	→準決勝
4	豊田北高(篠田)	4' 56" 43	4	
5	旭丘高B(石田)	4' 44" 20	2	→準決勝

予選B				
3	東郷高B(鬼頭)	5' 05" 25	3	
4	猿投農林高(立木)	4' 32" 10	2	→準決勝
5	旭丘高A(伊藤)	4' 17" 18	1	→準決勝

決勝F				
2	旭丘高A(伊藤)	4' 03" 68	1	→中部選抜
3	猿投農林高(立木)	4' 20" 34	3	
4	東郷高A(大畑)	4' 14" 23	2	→中部選抜
5	豊田北高(篠田)	4' 28" 69	4	

## ■第16回 中部高校選抜 (愛知池 1000m) 2002/10/19-20

## M2X(飯井・三好)

予選A組				
レーン	クルー名	県名	タイム	着順
1	美方高	福井2	3' 31" 38	3
2	岡谷南高	長野2	3' 38" 88	5
3	加茂高A	岐阜1	3' 31" 79	4
4	旭丘高	愛知1	3' 28" 60	2
5	阿賀黎明高	新潟1	3' 26" 78	1
6	宮川高	三重2	3' 45" 25	6

準決勝F組				
1	美方高	福井2	3' 29" 32	5
2	旭丘高	愛知1	3' 26" 07	3
3	大沢野工業高	富山1	3' 19" 89	1
4	小松水産高	福井1	3' 20" 68	2
5	加茂高A	岐阜1	3' 28" 21	4
6	岡谷南高	長野2	3' 36" 80	6

決勝H組				
1	浜松湖南高	静岡1	3' 26" 27	3
2	阿賀黎明高	新潟1	3' 28" 76	4
3	大沢野工業高	富山1	3' 21" 63	2
4	小松水産高	福井1	3' 20" 07	1
5	旭丘高	愛知1	3' 31" 78	6
6	岡谷東高	長野1	3' 29" 15	5

## M1X

予選A組				
1	諏訪清陵高(高)	長野2	4' 26" 18	6
2	津高(杉野)	三重2	4' 10" 86	5
3	旭丘高(平岡)	愛知1	3' 56" 77	3
4	恵那高(伊藤)	岐阜1	3' 47" 32	1
5	浜松西高(望月)	静岡1	3' 54" 41	2
6	美方高B(森山)	福井2	3' 57" 47	4

敗復E組				
1	津高(杉野)	三重2	4' 12" 38	5
2	宮川高(岡村)	三重1	4' 00" 33	3
3	旭丘高(平岡)	愛知1	3' 57" 11	1
4	美方高(森山)	福井2	3' 58" 17	2
5	阿賀黎明高A	新潟1	4' 00" 66	4
6	阿賀黎明高B	新潟2	4' 24" 67	6

準決勝G組				
1	大沢野工業高B	富山2	3' 55" 10	6
2	東郷高(黒須)	愛知2	3' 53" 39	4
3	恵那高(伊藤)	岐阜1	3' 39" 25	1
4	美方高A(米田)	福井1	3' 44" 71	2
5	旭丘高(平岡)	愛知1	3' 49" 71	3
6	東濃実業高(座間)	岐阜1	3' 54" 15	5

決勝H組				
1	沼津東高(山崎)	静岡2	3' 46" 07	4
2	大沢野工業高A	富山1	3' 48" 20	6
3	恵那高(伊藤)	岐阜1	3' 40" 65	1
4	美方高A(米田)	福井1	3' 41" 44	2
5	諏訪実業高	長野1	3' 42" 85	3
6	旭丘高(平岡)	愛知1	3' 46" 88	5

## W2X(土居・大畑)

予選B組				
2	岡谷南高	長野2	4' 19" 19	5
3	八尾高A	富山1	3' 52" 48	1
4	旭丘高	愛知1	3' 57" 92	3
5	沼津東高	静岡1	3' 55" 25	2
6	若狭高	福井2	4' 02" 35	4

敗復E組				
2	阿賀黎明高	新潟1	4' 11" 02	3
3	八尾高B	富山2	4' 07" 37	1
4	旭丘高	愛知1	4' 08" 75	2
5	加茂高	岐阜2	4' 11" 53	4
6	小松高A	石川1	4' 43" 74	5

準決勝G組				
1	津商業高	三重1	3' 59" 47	6
2	小浜水産高	福井1	3' 48" 52	1
3	岡谷東高	長野1	3' 50" 26	3
4	八百津高	岐阜1	3' 50" 84	4
5	猿投農林高	愛知2	3' 58" 66	5
6	旭丘高	愛知1	3' 49" 29	2

決勝H組

1	沼津東高	静岡1	3' 50" 90	3	→全国選抜
2	八尾高A	富山1	3' 47" 25	2	→全国選抜
3	小浜水産高	福井1	3' 46" 54	1	→全国選抜
4	旭丘高	愛知1	4' 11" 15	6	→全国選抜
5	岡谷東高	長野1	3' 52" 95	4	→全国選抜
6	浜松湖南高	静岡2	3' 54" 46	5	→全国選抜

W1X

予選C組

1	東濃実業高(岸)	岐阜2	4' 08" 51	2	→準決勝
2	七尾高B(山添)	石川2	4' 38" 58	6	
3	旭丘高(伊藤)	愛知1	4' 07" 46	1	→準決勝
4	新居高(安部)	静岡1	4' 10" 23	3	
5	新潟南高(青木)	新潟1	4' 17" 35	4	
6	八尾高B(河口)	富山2	4' 36" 74	5	

準決勝F組

1	二俣高(松井)	静岡2	4' 20" 83	5	
2	東郷高(大畑)	愛知2	4' 10" 99	2	→決勝
3	旭丘高(伊藤)	愛知1	4' 09" 08	1	→決勝
4	小浜水産高(岩澤)	福井1	4' 12" 54	4	
5	新潟南高(青木)	新潟1	4' 11" 72	3	→決勝
6	岡谷南高(松本)	長野2	4' 30" 17	6	

決勝H組

1	新潟南高(青木)	新潟1	4' 10" 58	5	→全国選抜
2	東郷高(大畑)	愛知2	4' 12" 24	6	
3	旭丘高(伊藤)	愛知1	3' 58" 79	1	→全国選抜
4	美濃加茂高(後藤)	岐阜1	4' 04" 72	4	
5	新居高(安部)	静岡1	4' 03" 45	3	→全国選抜
6	東濃実業高(岸)	岐阜2	4' 01" 53	2	→全国選抜

2003年戦績

[ 出場種目記号 ]

- M2X : 男子ダブルスカル
- M1X : 男子シングルスカル
- M4X+ : 男子舵手付きクォドルブル
- W2X : 女子ダブルスカル
- W1X : 女子シングルスカル
- W4X+ : 女子舵手付きクォドルブル

■第14回全国高校選抜大会 (静岡県・天竜川 2000m)

2003/03/22-23

M2X(阪井・三好)

予選4組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	小浜水産高	福井	7' 21" 65	2	→準決勝
2	済々黌高	熊本	7' 22" 93	3	→準決勝
3	新田高	愛媛	7' 26" 88	4	
4	鳥取東高	鳥取	8' 02" 36	6	
5	富士河口湖高	山梨	7' 31" 04	5	
6	旭丘高	愛知	7' 20" 83	1	→準決勝

準決勝1組

2	浜松湖南高	静岡	7' 23" 64	2	→順決
3	関西高	岡山	7' 36" 43	4	
4	今治南高	愛媛	7' 17" 86	1	→決勝
5	旭丘高	愛知	7' 26" 33	3	

M1X

予選2組

1	小見川高(池谷)	千葉	7' 48" 69	2	→準決勝
2	西和賀高(高橋)	岩手	8' 00" 73	4	
3	旭丘高(平岡)	愛知	8' 07" 54	5	
4	米子工業高(杉谷)	鳥取	7' 46" 06	1	→準決勝
5	香住高(竹野)	兵庫	8' 09" 24	6	
6	唐津商業高(山崎)	佐賀	7' 54" 77	3	→準決勝

敗復1組

1	小樽桜陽高(綱岸)	北海道	9' 07" 77	6	
2	西和賀高(高橋)	岩手	8' 07" 82	5	
3	伏見工業高(小谷)	京都	7' 53" 72	2	→準決勝
4	関西高(宗政)	岡山	7' 49" 03	1	→準決勝
5	西会津高(杉本)	福島	8' 00" 95	3	
6	旭丘高(平岡)	愛知	8' 06" 03	4	

W2X(土居・大畑)

予選1組

1	宇和島東高	愛媛	8' 05" 23	3	→準決勝
2	西市高	山口	8' 08" 75	4	
3	潮来高	茨城	8' 10" 27	5	
4	小樽桜陽高	北海道	8' 32" 46	6	
5	旭丘高	愛知	8' 00" 61	2	→準決勝
6	熊本学園大付高	熊本	7' 52" 10	1	→準決勝

準決勝1組

2	西市高	山口	8' 23" 69	4	
3	旭丘高	愛知	8' 10" 81	2	→順決
4	小浜水産高	福井	8' 06" 30	1	→決勝
5	八尾高	愛知	8' 10" 82	3	

順位決定

2	日田三隈高	大分	8' 53" 80	1	5位
3	沼津東高	静岡	9' 00" 16	3	7位
4	坂出高	香川	8' 58" 10	2	6位
5	旭丘高	愛知	9' 00" 28	4	8位

W1X

予選1組

1	米子南高(大江)	鳥取	8' 28" 75	2	→準決勝
2	日田高(田中)	大分	8' 44" 22	5	
3	旭丘高(伊藤)	愛知	8' 23" 46	1	→準決勝
4	東舞鶴高(前田)	京都	8' 46" 92	6	
5	富士河口湖高(内田)	山梨	8' 31" 12	3	→準決勝
6	西会津高(坂井)	福島	8' 33" 01	4	

準決勝2組

2	西会津高(坂井)	福島	8' 37" 62	3	→順決
3	小浜水産高(岩澤)	福井	8' 37" 30	2	→順決
4	旭丘高(伊藤)	愛知	8' 33" 91	1	→決勝
5	宇和島東高(光岡)	愛媛	8' 46" 22	4	

決勝

2	旭丘高(伊藤)	愛知	9' 09" 28	2	2位
3	今治西高(曾我)	愛媛	9' 12" 85	3	3位
4	熊本学園高(堀端)	熊本	8' 57" 47	1	優勝
5	東濃実業高(岸)	岐阜	9' 13" 61	4	4位

■2003 高校総体愛知県予選 (愛知池 1000m)

2003/05/24-25

M2×(A:阪井・三好)

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
2	旭丘高D	4'16"63	5	
3	旭丘高C	3'45"51	3	
4	東郷高A	3'41"55	2	→準決勝
5	旭丘高A	3'38"75	1	→準決勝
6	東郷高C	4'13"68	4	

予選B				
レーン	クルー名	タイム	着順	
2	東郷高B	4'09"97	4	
3	猿投農林高	3'37"88	1	→準決勝
4	豊田北高	3'43"08	3	
5	旭丘高B	3'39"07	2	→準決勝

決勝F				
レーン	クルー名	タイム	着順	
1	豊田北高	3'39"98	5	
2	旭丘高B	3'33"89	3	→東海大会
3	猿投農林高	3'30"14	2	→東海大会
4	旭丘高A	3'24"94	1	→全国大会
5	東郷高A	3'36"68	4	
6	旭丘高C	3'43"97	6	

M1×

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
1	東郷高D(清水)	4'22"86	6	
2	旭丘高B(平岡)	3'58"87	1	→準決勝
3	豊田北高A(佐久間)	4'05"72	4	
4	猿投農林高(小寺)	4'03"99	3	
5	東郷高B(早川)	4'00"82	2	→準決勝
6	旭丘高D(本田)	4'14"03	5	

予選B				
レーン	クルー名	タイム	着順	
1	東郷高E(石川)	5'19"29	6	
2	旭丘高C(葛原)	4'02"20	3	
3	東郷高A(菅沢)	3'59"71	1	→準決勝
4	旭丘高A(中村)	4'00"48	2	→準決勝
5	豊田北高B(酒井)	4'53"64	5	
6	東郷高C(成田)	4'32"89	4	

決勝G				
レーン	クルー名	タイム	着順	
1	旭丘高C(葛原)	3'55"58	4	
2	旭丘高B(平岡)	3'45"63	1	→全国大会
3	猿投農林高(小寺)	3'58"00	5	
4	東郷高A(菅沢)	3'52"06	3	→東海大会
5	旭丘高A(中村)	3'46"63	2	→東海大会
6	東郷高B(早川)	3'58"63	6	

W2×(A:伊藤・土居、B:中野・田上)

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
3	猿投農林高B	4'06"10	2	
4	東郷高A	4'18"22	3	
5	旭丘高A	3'55"68	1	→決勝

予選B				
レーン	クルー名	タイム	着順	
3	旭丘高B	4'01"82	2	
4	猿投農林高A	4'01"40	1	→決勝

決勝D				
レーン	クルー名	タイム	着順	
2	旭丘高B	3'56"03	2	→東海大会
3	猿投農林高A	4'02"21	4	
4	旭丘高A	3'43"14	1	→全国大会
5	猿投農林高B	3'57"37	3	→東海大会

W1×

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
3	旭丘高C(奥村)	4'44"73	2	
4	旭丘高A(大畑)	4'32"23	1	→決勝

予選B				
レーン	クルー名	タイム	着順	
3	旭丘高B(石田)	4'48"77	3	
4	東郷高(大畑)	4'17"70	1	→決勝
5	豊田北高(篠田)	4'29"16	2	

決勝D				
レーン	クルー名	タイム	着順	
2	旭丘高C(奥村)	4'26"85	4	
3	旭丘高A(大畑)	4'10"25	2	→東海大会
4	東郷高(大畑)	4'03"03	1	→全国大会
5	豊田北高(篠田)	4'20"99	3	→東海大会

■第1回全日本ジュニア選手権 (熊本県・斑蛇口湖 2000m)

2003/06/13-15

W1×

予選1					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	松江北高(林)	島根	10'43"78	5	
2	米子東高(福田)	鳥取	10'22"80	3	
3	旭丘高(伊藤)	愛知	9'48"43	1	→準決勝
4	宇和島東高(那須)	愛媛	9'54"12	2	
5	二俣高(市川)	静岡	10'31"83	4	
6	網走向陽高(入野谷)	北海道	11'18"99	6	

準決D					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	熊本学園大附高(川野)	熊本	8'54"17	3	
3	旭丘高(伊藤)	愛知	8'46"32	2	→決勝B
4	日田高(林)	大分	8'37"22	1	→決勝A
5	仙台大(保利)	宮城	9'00"30	4	
6	美濃加茂高(後藤)	岐阜	9'03"55	5	

決勝B				
レーン	クルー名	県名	タイム	着順
1	今治西高(曾我)	愛媛	9'03"92	6
2	小浜水産高(島田)	福井	8'46"90	2
3	日田三隈高(梶原)	大分	8'52"12	4
4	東濃実業高(岸)	岐阜	8'50"31	3
5	日田三隈高(財津)	大分	8'56"66	5
6	旭丘高(伊藤)	愛知	8'43"78	1

■第50回 東海高校総体 (愛知池 1000m) 2003/06/21-22

M2×(阪井・三好)

予選1組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	加茂高B	岐阜	3'31"93	4	
3	宮川高B	三重	5'08"44	5	
4	浜松湖南高	静岡	3'22"92	2	→決勝
5	旭丘高A	愛知	3'23"99	3	
6	恵那高	岐阜	3'22"75	1	→決勝

予選2組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	旭丘高B	愛知	3'34"54	5	
2	天竜林業高	静岡	3'24"72	2	→決勝
3	宮川高A	三重	3'56"36	6	
4	加茂高A	岐阜	3'25"11	3	
5	猿投農林高	愛知	3'24"37	1	→決勝
6	沼津工業高	静岡	3'32"57	4	

敗復1組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
3	沼津工業高	静岡	3'39"91	2	
4	旭丘高A	愛知	3'34"30	1	→決勝
5	旭丘高B	愛知	3'43"21	3	

決勝1組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	猿投農林高	愛知	3'37"56	5	5位
2	旭丘高A	愛知	3'47"01	6	6位
3	天竜林業高	静岡	3'32"84	1	優勝
4	加茂高A	岐阜	3'34"52	2	2位
5	浜松湖南高	静岡	3'36"03	4	4位
6	恵那高	恵那	3'35"45	3	3位

M1×

予選1組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	加茂高(大竹)	岐阜	4'13"41	2	→決勝
2	旭丘高B(中村)	愛知	4'23"44	6	
3	浜松西高(望月)	静岡	4'10"56	1	→決勝
4	宮川高A(奥川)	三重	4'21"04	5	
5	八百津高(松田)	岐阜	4'20"27	3	
6	東郷高(菅沢)	愛知	4'20"62	4	

予選2組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	浜松北高(高井)	静岡	4'09"98	2	→決勝
2	宮川高B(中辻)	三重	4'42"95	5	
3	東濃実業高(座間)	岐阜	4'07"95	1	→決勝
4	旭丘高A(平岡)	愛知	4'26"58	4	
5	沼津東高(益田)	静岡	4'10"03	6	
6	宮川高C(野瀬)	三重	6'05"11	3	

敗復2組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	宮川高C(野瀬)	三重	4'26"37	4	
3	宮川高A(奥川)	三重	4'07"17	2	
4	沼津東高(益田)	静岡	4'03"02	1	→決勝
5	旭丘高B(中村)	愛知	4'11"47	3	

敗復2組					
レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	宮川高B(中辻)	三重	5'17"60	4	
3	東郷高(菅沢)	愛知	4'10"17	3	
4	八百津高(松田)	岐阜	4'02"60	1	→決勝
5	旭丘高A(平岡)	愛知	4'06"10	2	

W2×(A:伊藤・土居、B:中野・田上)

予選1組

1	津商業高B	三重	5'45"56	6	
2	旭丘高B	愛知	4'08"47	2	→決勝
3	二俣高	静岡	4'09"55	3	
4	八百津高	岐阜	4'03"03	1	→決勝
5	津高	三重	4'48"53	5	
6	猿投農林高	愛知	4'22"39	4	

予選2組

1	東濃実業高	岐阜	4'02"57	6	
2	浜松北高	静岡	3'56"78	3	
3	旭丘高A	愛知	3'49"83	1	→決勝
4	津商業高A	三重	3'59"08	5	
5	加茂高	岐阜	3'52"06	2	→決勝
6	浜松湖南高	静岡	3'58"01	4	

決勝1組

1	旭丘高A	愛知	4'12"03	1	優勝
2	浜松湖南高	静岡	4'27"35	5	5位
3	八百津高	岐阜	4'14"54	3	3位
4	旭丘高B	愛知	4'21"34	4	4位
5	加茂高	岐阜	4'13"07	2	2位
6	東濃実業高	岐阜	4'32"29	6	6位

W1×

予選2組

1	天竜林業高(相羽)	静岡	4'26"85	4	
2	旭丘高(大畑)	愛知	4'23"69	3	
3	宮川高A(野呂)	三重	4'54"18	6	
4	美濃加茂高(後藤)	岐阜	4'09"50	1	決勝へ
5	新居高B(岩井)	静岡	4'18"76	2	決勝へ
6	豊田北高(篠田)	愛知	4'38"22	5	

敗復2組

2	津商業高(津村)	三重	4'50"84	4	
3	旭丘高(大畑)	愛知	4'21"79	2	
4	東郷高(大畑)	愛知	4'15"71	1	→決勝
5	宮川高A(野呂)	三重	4'42"45	3	

■2003 国体愛知県予選 (愛知池 1000m) 2003/07/20  
少年M1×

1回戦 A

レーン	クルー名	タイム	着順
1	猿投農林高(吉田)	3'55"41	2
2	旭丘高(中村)	3'55"74	3
3	東郷高(菅沢)	4'02"35	4
4	旭丘高(平岡)	4'28"65	6
5	猿投農林高(鈴木)	3'53"93	1
6	旭丘高(山本)	4'02"84	5

1回戦 B

1	東郷高(野々山)	4'08"04	5
2	旭丘高(皆川)	3'52"47	2
3	旭丘高(葛原)	3'50"02	1
4	東郷高(早川)	3'59"46	3
5	猿投農林高(中根)	4'00"08	4
6	旭丘高(本田)	4'09"83	6

1回戦 C

1	旭丘高(佐竹)	4'18"77	5
2	東郷高(加藤)	4'11"05	3
3	猿投農林高(山形)	3'58"38	2
4	旭丘高(水野)	3'50"94	1
5	東郷高(紙元)	4'14"71	4
6	旭丘高(大西)	4'47"49	6

2回戦 B

1	東郷高(野々山)	4'13"85	6
2	東郷高(菅沢)	4'03"20	3
3	東郷高(早川)	4'00"67	2
4	猿投農林高(山形)	4'05"06	4
5	猿投農林高(中根)	3'59"73	1
6	旭丘高(山本)	4'07"50	5

2回戦 C

1	旭丘高(大西)		棄権
2	旭丘高(佐竹)	4'22"01	4
3	東郷高(加藤)	4'17"03	2
4	旭丘高(本田)	4'11"58	1
5	東郷高(紙元)	4'22"20	5
6	旭丘高(平岡)	4'18"91	3

少年W1×

1回戦 A

1	猿投農林高(近藤信)	4'18"78	5
2	旭丘高(土居)	4'26"07	6
3	東郷高(大畑)	4'17"78	4
4	旭丘高(伊藤)	4'06"42	1
5	猿投農林高(片桐)	4'15"57	3
6	旭丘高(田上)	4'14"95	2

1回戦 B

1	東郷高(近藤友)	4'32"31	5
2	猿投農林高(川津)	4'23"61	2
3	旭丘高(中野)	4'24"58	3
4	猿投農林高(杉山)	4'20"78	1
5	東郷高(河守)	4'35"10	6
6	旭丘高(奥村)	4'31"22	4

2回戦 A

1	猿投農林高(杉山)	4'25"78	6
2	東郷高(大畑)	4'22"42	5
3	旭丘高(田上)	4'18"40	3
4	旭丘高(伊藤)	4'03"53	1
5	猿投農林高(片桐)	4'15"52	2
6	猿投農林高(近藤信)	4'19"42	4

2回戦 B

1	東郷高(河守)	4'30"54	4
2	旭丘高(奥村)	4'34"07	6
3	旭丘高(中野)	4'23"71	3
4	猿投農林高(川津)	4'19"49	2
5	旭丘高(土居)	4'14"84	1
6	東郷高(近藤友)	4'30"93	5

■全日本高校選手権(インターハイ) (長崎県・形上湾 1000m)  
2003/08/02-05

M2×(阪井・三好)

予選3組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
	阿賀黎明高	新潟	3'35"80	1	→準々決勝
	津久井高	神奈川	3'36"06	2	→準々決勝
	旭丘高	愛知	3'41"83	3	→準々決勝
	網走南ヶ丘高	北海道	3'51"20	4	
	鹿屋工業高	鹿児島	3'54"96	5	
	徳島市立高	徳島	4'21"14	6	

準々決勝3組

	瀬田工業高	滋賀	3'22"23	1	→準決勝
	旭丘高	愛知	3'22"58	2	→準決勝
	伏見工業高	京都	3'23"77	3	
	宮島工業高	広島	3'28"16	4	
	早実高	東京	3'30"25	5	
	関西高	岡山	3'31"30	6	

準決勝1組

	小浜水産高	福井	3'18"99	1	→決勝
	阿賀黎明高	新潟	3'19"86	2	→決勝
	加茂高	岐阜	3'21"26	3	→決勝
	旭丘高	愛知	3'22"57	4	
	浜松湖南高	静岡	3'27"35	5	
	潮来高	茨城	3'31"96	6	

M1×

予選6組

	旭丘高(平岡)	愛知	4'46"53	1	→準々決勝
	長崎明誠高(佐久間)	長崎	4'49"98	2	→準々決勝
	大野沢工業高(富士原)	富山	4'51"46	3	→準々決勝
	本郷高(高橋)	東京	5'01"16	4	
	山口水産高(久村)	山口	5'03"89	5	
	むつ工業高(石田)	青森	5'06"40	6	

準々決勝3組

	小見川高(池谷)	千葉	3'41"73	1	→準決勝
	館林高(今泉)	群馬	3'42"11	2	→準決勝
	西和賀高(高橋)	岩手	3'42"97	3	
	浜松西高(望月)	静岡	3'45"44	4	
	七尾高(平塚)	石川	3'46"98	5	
	旭丘高(平岡)	愛知	3'52"41	6	

W2×(伊藤・土居)

予選4組

	旭丘高	愛知	4'01"54	1	→準々決勝
	阿賀黎明高	新潟	4'13"92	2	→準々決勝
	田名部高	青森	4'27"95	3	→準々決勝
	愛川高	神奈川	4'53"09	4	
	徳島市立高	徳島	4'53"50	5	

準々決勝2組

今治西高	愛媛	4'00"24	1	→準決勝
旭丘高	愛知	4'01"66	2	→準決勝
西市高	山口	4'11"12	3	
潮来高	茨城	4'16"97	4	
松江北高	島根	4'27"69	5	

準決勝1組

熊本学園大付高	熊本	3'46"90	1	→決勝
日田三隈高	大分	3'47"04	2	→決勝
旭丘高	愛知	3'47"09	3	→決勝
八百津高	岐阜	3'52"47	4	
岡谷東高	長野	3'54"86	5	
富士河口湖高	山梨	3'56"78	6	

決勝1組

熊本学園大付高	熊本	3'35"06	1	優勝
旭丘高	愛知	3'36"88	2	2位
今治西高	愛媛	3'37"12	3	3位
日田三隈高	大分	3'37"74	4	
坂出高	香川	3'38"89	5	
小浜水産高	福井	3'47"72	6	

■国体東海ブロック大会 (三重県・奥伊勢湖 1000m)

2003/08/17

少年M2X (水野・皆川)

1回戦

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	宮川高	三重	4'10"82	3	
3	旭丘高	愛知	3'37"78	2	
4	恵那高	岐阜	3'36"52	1	

1回戦

2	宮川高	三重	3'59"06	3	
3	恵那高	岐阜	3'34"18	1	→全国大会
4	旭丘高	愛知	3'35"32	2	

少年M1x

1回戦

2	宮川高(奥川)	三重	4'09"07	3	
3	旭丘高(葛原)	愛知	3'54"67	2	
4	恵那高(伊藤)	岐阜	3'49"13	1	

2回戦

2	宮川高(奥川)	三重		3	
3	恵那高(伊藤)	岐阜		1	→全国大会
4	旭丘高(葛原)	愛知		2	

少年W1X

1回戦

2	津商業高(石田)	三重	4'22"11	3	
3	旭丘高(伊藤)	愛知	4'08"21	1	
4	加茂高(井戸)	岐阜	4'15"12	2	

2回戦

2	津商業高(石田)	三重	4'33"92	3	
3	旭丘高(伊藤)	愛知	4'15"03	1	→全国大会
4	加茂高(井戸)	岐阜	4'23"74	2	

■第58回国民体育大会 (静岡県・天竜川 1000m)

2003/09/13-16

少年W1X

予選D組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	熊本学園大付高(廣田)	熊本	4'01"10	1	→準決勝
3	洲本高(福田)	兵庫	4'05"78	3	
4	津久井高(末上)	神奈川	4'09"84	4	
5	旭丘高(伊藤)	愛知	4'01"16	2	→準決勝
6	北海道選抜(入野谷)	北海道	4'30"47	5	

準決勝B組

1	旭丘高(伊藤)	愛知	3'57"35	2	→決勝
2	福井選抜(島田)	福井	3'55"69	1	→決勝
3	西会津高(坂井)	福島	4'09"29	6	
4	西和賀高(高橋)	岩手	4'00"58	3	→順位決定
5	津久井高(末上)	神奈川	4'01"36	5	
6	八尾高(杉本)	富山	4'01"24	4	→順位決定

決勝A組

2	旭丘高(伊藤)	愛知	4'00"74	3	3位
3	熊本学園大付高(廣田)	熊本	4'10"63	4	4位
4	滋賀選抜(玉川)	滋賀	4'00"64	2	2位
5	福井選抜(島田)	福井	3'58"95	1	優勝

■愛知県高校新人戦 (愛知池 1000m) 2003/10/04-05  
M4X+(大西・水野・皆川・平岡・葛原)

予選A

レーン	クルー名	タイム	着順	
2	猿投農林高B	3'37"71	3	
3	旭丘高	3'15"20	1	→決勝
4	豊田北高A	3'29"84	2	→決勝
5	東郷高B	3'47"31	4	

決勝D

1	猿投農林高B	3'42"01	6	
2	東郷高A	3'36"71	4	
3	猿投農林高A	3'27"12	2	→中部選抜
4	旭丘高	3'19"06	1	→中部選抜
5	豊田北高A	3'29"74	3	
6	豊田北高B	3'38"81	5	

M2x

予選A

2	東郷高C	4'16"23	5	
3	猿投農林高B	3'58"77	4	
4	豊田北高A	3'41"04	2	→決勝
5	旭丘高A	3'39"87	1	→決勝
6	東郷高B	3'44"37	3	

予選B

2	猿投農林高C	4'08"26	4	
3	豊田北高B	4'21"23	5	
4	猿投農林高A	3'36"64	2	→決勝
5	東郷高A	3'33"50	1	→決勝
6	旭丘高B	3'58"90	3	

決勝D

1	猿投農林高B	3'41"20	3	
2	豊田北高A	3'42"75	4	
3	猿投農林高A	3'37"42	2	→中部選抜
4	東郷高A	3'37"25	1	→中部選抜
5	旭丘高A	3'44"33	6	
6	東郷高B	3'43"93	5	

M1x

予選A

2	東郷高C(岡本)	4'31"67	4	
3	猿投農林高(粕谷)	4'03"69	3	
4	東郷高A(菅沢)	4'00"49	2	→決勝
5	旭丘高B(鈴木)	3'56"53	1	→決勝

予選B

3	旭丘高C(藤田)	4'06"49	3	
4	旭丘高A(本田)	4'02"02	2	→決勝
5	東郷高B(天澤)	3'59"22	1	→決勝

決勝D

1	猿投農林高(粕谷)	4'12"01	6	
2	旭丘高A(本田)	4'03"64	4	
3	東郷高B(天澤)	4'03"47	3	
4	旭丘高B(鈴木)	3'55"90	1	→中部選抜
5	東郷高A(菅沢)	3'57"20	2	→中部選抜
6	旭丘高C(藤田)	4'09"79	5	

W4X+

予選B

3	猿投農林高B	3'46"61	1	→決勝
4	東郷高	4'35"71	3	
5	旭丘高	4'09"43	2	→決勝

決勝D

1	猿投農林高C	4'21"37	6	
2	旭丘高	4'15"23	5	
3	猿投農林高B	3'47"33	2	→中部選抜
4	猿投農林高A	3'45"58	1	→中部選抜
5	豊田北高A	4'01"95	3	
6	豊田北高B	4'14"29	4	

W2x(A:中野・奥村)

予選A

2	東郷高B	4'14"50	2	→決勝
3	猿投農林高A			除外
4	豊田北高A	5'19"61	3	
5	旭丘高B	4'13"02	1	→決勝

予選B

2	豊田北高B	4'55"12	4	
3	旭丘高A	3'54"12	1	→決勝
4	東郷高A	4'04"52	3	
5	猿投農林高B	4'01"73	2	→決勝

決勝D

1	猿投農林高A	4'07"16	2	→中部選抜
2	東郷高B	4'18"51	6	
3	猿投農林高B	4'12"52	4	
4	旭丘高A	3'58"87	1	→中部選抜
5	旭丘高B	4'14"37	5	
6	東郷高A	4'09"60	3	

W1×

予選A

2	猿投農林高B(溝口)	4'13"08	1	→決勝
3	豊田北高(篠田)	4'17"47	2	→決勝
4	東郷高A(河守)	4'23"79	3	
5	旭丘高B(森)	4'49"41	4	

予選B

2	東郷高A(大岩)	4'28"66	4	
3	猿投農林高A(加藤)	4'12"84	1	→決勝
4	旭丘高A(田上)	4'21"38	2	→決勝
5	猿投農林高C(中垣)	4'27"56	3	

決勝D

1	東郷高A(河守)	4'28"42	6	
2	旭丘高A(田上)	4'13"01	2	→中部選抜
3	猿投農林高B(溝口)	4'21"38	3	
4	猿投農林高A(加藤)	4'09"49	1	→中部選抜
5	豊田北高(篠田)	4'23"26	4	
6	猿投農林高C(中垣)	4'28"03	5	

■第17回 中部高校選抜 (愛知池 1000m) 2003/10/18-19  
M4X+(大西・水野・皆川・平岡・葛原)

予選C組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
2	下諏訪向陽高	長野2	3'30"06	5	
3	旭丘高	愛知1	3'11"16	1	⇒準決勝へ
4	加茂高	岐阜1	3'22"70	4	
5	沼津東高	静岡1	3'12"01	2	⇒準決勝へ
6	若狭高	福井2	3'17"43	3	

準決G組

1	加茂高	岐阜1	3'24"11	5	
2	大沢野工業高	富山1	3'20"56	3	⇒決勝へ
3	沼津東高	静岡1	3'14"13	1	⇒決勝へ
4	旭丘高	愛知1	3'15"93	2	⇒決勝へ
5	新潟南高	新潟1	3'22"23	4	
6	八尾高	富山2	3'25"75	6	

決勝H組

1	大沢野工業高	富山1	3'23"36	6	→全国選抜
2	浜松湖南高	静岡2	3'15"49	3	→全国選抜
3	小浜水産高	福井1	3'13"06	1	→全国選抜
4	沼津東高	静岡1	3'16"02	4	→全国選抜
5	旭丘高	愛知1	3'13"75	2	→全国選抜
6	諏訪清陵高	長野1	3'19"45	5	→全国選抜

M1×

予選C組

1	八百津高(溝口)	岐阜2	3'54"53	4	
2	七尾高(鳥畑)	石川2	4'16"39	6	
3	旭丘高(鈴木)	愛知1	3'46"79	2	⇒準決勝へ
4	天竜林業高(渥美)	静岡1	3'45"51	1	⇒準決勝へ
5	新潟南高(山口)	新潟1	3'49"71	3	
6	大沢野工業高B(江尻)	富山2	4'05"09	5	

準決F組

1	八百津高(溝口)	岐阜2	3'56"18	6	
2	新潟南高(山口)	新潟1	3'52"34	4	
3	天竜林業高(渥美)	静岡1	3'47"79	2	⇒決勝へ
4	諏訪清陵高(高木)	長野1	3'45"48	1	⇒決勝へ
5	旭丘高(鈴木)	愛知1	3'50"42	3	⇒決勝へ
6	津高A(杉野)	三重1	3'53"41	5	

決勝H組

1	旭丘高(鈴木)	愛知1	3'46"12	5	→全国選抜
2	大沢野工業高A(山本)	富山1	3'43"16	2	→全国選抜
3	諏訪清陵高(高木)	長野1	3'41"49	1	→全国選抜
4	小松高(荏畑)	石川1	3'45"51	3	→全国選抜
5	二俣高(平野)	静岡2	3'46"92	6	
6	天竜林業高(渥美)	静岡1	3'45"90	4	→全国選抜

W2×(中野・奥村)

予選A組

1	七尾高A	石川2	4'13"11	4	
2	津商業高	三重2	4'27"67	6	
3	旭丘高	愛知1	3'56"02	3	
4	恵那高	岐阜1	3'50"45	1	⇒準決勝へ
5	浜松湖南高	静岡1	3'52"51	2	⇒準決勝へ
6	下諏訪向陽高	長野2	4'14"79	5	

敗復E組

2	津商業高	三重2	4'37"33	5	
3	七尾高B	石川1	4'11"97	3	⇒準決勝へ
4	旭丘高	愛知1	3'59"96	1	⇒準決勝へ
5	新潟南高	新潟1	4'00"70	2	⇒準決勝へ
6	七尾高A	石川2	4'18"60	4	

準決F組

1	七尾高B	石川1	4'13"14	6	
2	東濃実業高	岐阜2	3'59"34	5	
3	浜松湖南高	静岡1	3'52"27	2	⇒決勝へ
4	小浜水産高	福井1	3'48"08	1	⇒決勝へ
5	二俣高	静岡2	3'54"64	3	⇒決勝へ
6	旭丘高	愛知1	3'55"85	4	

W1×

予選C組

2	若狭高(山本)	福井2	4'29"81	5	
3	八尾高(福岡)	富山1	4'20"87	3	
4	宮川高(野呂)	三重1	4'29"45	4	
5	岡谷東高(中山)	長野1	4'14"59	2	⇒準決勝へ
6	旭丘高(田上)	愛知2	4'08"60	1	⇒準決勝へ

準決G組

1	七尾高(西川)	石川1	4'21"25	5	
2	浜松北高(大城)	静岡2	4'08"63	2	⇒決勝へ
3	旭丘高(田上)	愛知2	4'09"34	3	⇒決勝へ
4	加茂高(井戸)	岐阜1	4'07"53	1	⇒決勝へ
5	岡谷東高(中山)	長野1	4'11"38	4	
6	八尾高(福岡)	富山1	4'23"96	6	

決勝H組

1	天竜林業高(相羽)	静岡1	4'14"28	6	
2	猿投農林高(加藤)	愛知1	4'08"75	3	→全国選抜
3	加茂高(井戸)	岐阜1	4'05"33	2	→全国選抜
4	美方高(田辺)	福井1	4'03"09	1	→全国選抜
5	浜松北高(大城)	静岡2	4'12"61	5	
6	旭丘高(田上)	愛知2	4'10"14	4	→全国選抜